

2008年度

履修要綱

白鷗大学

教育学部・発達科学部

学籍番号

氏名

2008年度
(平成20年度)

目 次

年間行事予定表	2
学部長メッセージ	5
教育学部	23
発達科学部	93
ー 共通項目 ー	
履修の手続き	9
1. 履修科目の決定から履修登録完了までの流れ	
2. 時間割作成について	
3. 履修登録について	
4. 履修登録上の注意	
5. 抽選科目の登録について	
6. 履修科目の確定	
試験および成績	15
1. 試験について	
2. 成績の評価・発表について	
3. 卒業発表	

2008年(平成20)年度 年間行事予定表

前		期 (4 月 1 日 ~ 9 月 21 日)		お も な 行 事 予 定							
	日	月	火	水	木	金	土				
4 月				1	2	3	4	5	4月1日(火) 入学式 7日(月) 前期授業開始 29日(火) 昭和の日		
	6	7	8	9	10	11	12				
		13	14	15	16	17	18	19			
		20	21	22	23	24	25	26			
		27	28	29	30						
5 月					1	2	③	5月3日(土) 憲法記念日 4日(日) みどりの日 5日(月) こどもの日 6日(火) 振替休日 7日(水) 開学記念振替休 29日(木) スポーツ大会 (予定) 30日(金) スポーツ大会 (予定)			
	④	⑤	⑥	⑦	8	9	10				
		11	12	13	14	15	16		17		
		18	19	20	21	22	23		24		
		25	26	27	28	29	30		31		
6 月		1	2	3	4	5	6	7	6月14日(土) 保護者懇談会 (3年生予定)		
		8	9	10	11	12	13	14			
		15	16	17	18	19	20	21			
		22	23	24	25	26	27	28			
		29	30								
7 月			1	2	3	4	5	7月21日(月) 海の日 22日(火) 前期授業終了 23日(水) } 授業時数調整期間 24日(木) } 25日(金) } 前期試験期間 31日(木) }			
	6	7	8	9	10	11	12				
		13	14	15	16	17	18		19		
		20	21	22	23	24	25		26		
		27	28	29	30	31					
8 月					1	2	8月1日(金) 夏期休業開始				
	3	4	5	6	7	8			9		
		10	11	12	13	14			15	16	
		17	18	19	20	21			22	23	
		24	25	26	27	28			29	30	31
9 月		1	2	3	4	5	6	9月15日(月) 敬老の日 21日(日) 夏期休業終了 22日(月) 後期授業開始 23日(火) 秋分の日			
	7	8	9	10	11	12	13				
		14	15	16	17	18	19		20		
		21	22	23	24	25	26		27		
		28	29	30							

注) 一線内: ガイダンス、授業・試験期間 ○印: 祝祭日、振替休、開学記念日等 □印: 月曜日授業振替日

後 期 (9 月 22 日 ~ 3 月 31 日)		お も な 行 事 予 定																																																												
10 月	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>⑬</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				1	2	3	4				5	6	7	8	9	10	11				12	⑬	14	15	16	17	18				19	20	21	22	23	24	25				26	27	28	29	30	31					10月13日(月) 体育の日 31日(金) 終日: 白鷗祭準備 (休講)										
			1	2	3	4																																																								
5	6	7	8	9	10	11																																																								
12	⑬	14	15	16	17	18																																																								
19	20	21	22	23	24	25																																																								
26	27	28	29	30	31																																																									
11 月	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>2</td><td>③</td><td>④</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑳</td><td>㉑</td><td>㉒</td><td>㉓</td><td>㉔</td><td>㉕</td><td>㉖</td><td>㉗</td><td>㉘</td><td>㉙</td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>										1	2	③	④	5	6	7	8				9	10	11	12	13	14	15				16	17	18	19	20	21	22				⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	30										11月1日(土) } 白鷗祭 2日(日) } 3日(月) 終日: 後片付け (休講)・文化の日 4日(火) 2日の代休 (休講) 22日(土) 保護者懇談会 (1・2年生予定) 23日(日) 勤労感謝の日 24日(月) 振替休日
									1																																																					
2	③	④	5	6	7	8																																																								
9	10	11	12	13	14	15																																																								
16	17	18	19	20	21	22																																																								
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙																																																					
30																																																														
12 月	<table border="1"> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td>㉓</td><td>㉔</td><td>㉕</td><td>㉖</td><td>㉗</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		1	2	3	4	5	6				7	8	9	10	11	12	13				14	15	16	17	18	19	20				21	22	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗				28	29	30	31							12月23日(火) 天皇誕生日 24日(水) 冬期休業開始										
	1	2	3	4	5	6																																																								
7	8	9	10	11	12	13																																																								
14	15	16	17	18	19	20																																																								
21	22	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗																																																								
28	29	30	31																																																											
1 月	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>⑧</td><td>9</td><td>10</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>⑫</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>⑬</td><td>17</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>					1	2	3				4	5	6	7	⑧	9	10				11	⑫	13	14	15	⑬	17				18	19	20	21	22	23	24				25	26	27	28	29	30	31				1月7日(水) 冬期休業終了 8日(木) 後期授業再開・月曜日授業振替日 12日(月) 成人の日 16日(金) 大学入試センター試験準備 (全学休講) 17日(土) } 大学入試センター試験 (休講) 18日(日) } 21日(水) } 授業時数調整期間 22日(木) } 27日(火) 後期授業終了 28日(水) } 授業時数調整期間 29日(木) } 31日(土) } 後期試験期間 2月6日(金) }										
				1	2	3																																																								
4	5	6	7	⑧	9	10																																																								
11	⑫	13	14	15	⑬	17																																																								
18	19	20	21	22	23	24																																																								
25	26	27	28	29	30	31																																																								
2 月	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>⑪</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7				8	9	10	⑪	12	13	14				15	16	17	18	19	20	21				22	23	24	25	26	27	28				7日(土) 春期休業開始 11日(水) 建国記念の日																				
1	2	3	4	5	6	7																																																								
8	9	10	⑪	12	13	14																																																								
15	16	17	18	19	20	21																																																								
22	23	24	25	26	27	28																																																								
3 月	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>㉑</td><td>21</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7				8	9	10	11	12	13	14				15	16	17	18	19	㉑	21				22	23	24	25	26	27	28				29	30	31								3月20日(金) 春分の日 23日(月) 卒業・修了式 (予定)										
1	2	3	4	5	6	7																																																								
8	9	10	11	12	13	14																																																								
15	16	17	18	19	㉑	21																																																								
22	23	24	25	26	27	28																																																								
29	30	31																																																												



大学時代にこんな力を身につけよう

教育学部（発達科学部）長 馬場 将 光

新入生諸君、入学おめでとうございます。白鷗大学のスタッフの1人として心から歓迎いたします。諸君の生きる21世紀には世界と日本の社会は大きく変わっていきます。情報化、国際化、人口の急増、貧富の格差の拡大、環境、人の身体と心の健康といったさまざまな問題が問われてきます。諸君はそういった問題1つひとつを慎重にかつ大胆に解決していかなければなりません。そのために、学生諸君にはこんな能力を大学時代に身につけて欲しいと思っています。

1つは、社会人になるための基礎的・基本的な知識・技術を身につけるということです。これはスポーツでいえばどんな種目にも耐えうる基礎的な体力を身につけるようなものです。

2つは、学習した知識・技術をまとめるあるいはつなげる能力を身につけるということです。これは獲得した断片的な知識をつなぎ1つの図形を描くことに似ています。この図形は固定的なものではなく、知識や経験を積み重ねる間に絶えず変化していくものです。1口でいえば、知識をつなぎ合わせて図形なり物語りを作るようなものです。

3つは、国際化時代に対応して日本語以外になにか1つ外国語の能力を身につけるということです。それからパソコンの使用能力を身につけるということです。今や外国語の能力とパソコン力は自動車免許証と同じくらい重要なものになっています。それなくしては生きていくことができなくなっています。社会が想像以上に大きく変わってきていることに注目する必要があります。

4つは、人はじつに多種多様でありますから、そうした人になにかを教える教師という職業につくためにはマニュアル通りに行動するのではなく、相手の変化に対応できるしなやかな判断力とそれを支える専門的な知識・技術を身につけるということです。1口でいえば、お客の注文と好みに応えてなんの料理でも造れる料理人のようになるということです。

5つは、教育学部の教育理念である「人の心と身体の健康」を達成できるように日々精進してほしいということです。これは、言うは易しいですが、実行することはなかなかむずかしいものです。まず手始めに規則正しい生活をするところから始めてみてはいかがでしょうか。そしてゆとりがあったら、笑いとユーモアの精神を身につけてほしいと思っています。笑いやユーモアはすばらしい文化なのです。

そして4年後に諸君が本学を卒業する時には、大人社会に十分適応できる自立した1人の人間に成長し、たくましくなっていることを期待しています。そのために本学のスタッフは全員が協力して諸君をサポートしていく覚悟でいます。

諸君の奮闘を心から期待しています。

共 通 項 目

履修の手続き

— 履修登録とは —

履修登録とは、その年度の初め（または後期の初め）に、履修する科目を登録する手続きです。この手続きが完了されないと授業を受けることはもちろん、その科目の試験を受けることもできず単位も認定されません。

前期・通年科目については年度の初め、後期科目については後期の初めのそれぞれ定められた期間に登録しなければなりません。

履修登録をするにあたり、各自卒業要件に照らして履修計画をたて、履修要綱及び「シラバス（講義概要）」をよく読んで上で時間割を作成しておいて下さい。

1. 履修科目の決定から履修登録完了までの流れ

※日程等については別途掲示等で案内します。



2. 時間割作成について

- (1) 年度の初めに後期科目を含め、1年間の時間割を作成しておいて下さい。
- (2) 1年間に履修できる単位数の上限（年間最高履修単位）が決められています。
※前期・後期ごとの履修上限は定めていません。
※不合格・失格科目も履修単位数に含まれます。
- (3) 入学年度の「カリキュラム表」をよく確認の上、必修科目については定められた学年で履修して下さい。必修科目を次年度に持ち越すと、時間割上他の必修科目と重なった場合、いずれかの科目しか履修できません。
- (4) 次の場合は履修登録ができません。
 - ・同期、同一時限の科目
 - ・同一名称の科目（一部科目〈時間割の注意事項で確認のこと〉を除く）
 - ・本校舎・東キャンパス間の連続した時限の科目（昼休みをはさむ場合を除く）
 - ・既に単位を修得した科目
 - ・在学年次よりも上級年次に配当された科目
- (5) 科目によって履修制限される科目があり、次の通り制限方法が異なります。
 - ・受講者指定科目
クラス・学籍番号指定の科目（必修科目等）、学年指定の科目（ゼミナール等）など受講者が限定されている科目は対象者のみの履修が可能です。
 - ・事前申請が必要な科目
事前に申請した学生のみが履修登録をすることができます。掲示等を確認し受付期間内に学務課窓口で事前申請をして下さい。
 - ・抽選科目
授業の性質や使用する機器の台数の関係上、受講者数に上限を設けている科目があります。これらの科目については掲示等を確認し、必要な手続きを行って下さい。
 - ・「カリキュラム表」の◆印の科目
教職課程及び資格課程の登録手続きを完了している学生のみ履修可能です。
- (6) 1年次の後期以降は、「成績通知表」で修得単位を確認の上、時間割を作成して下さい。特に卒業見込生は、卒業所要単位数が充足しているか、合計修得単位のみならず、各科目群の修得単位数をよく確認して下さい。
- (7) 「随意科目」の単位は、卒業所要単位数に算入されません。

3. 履修登録について

- (1) 前期・通年科目については、前期の初めの定められた期間に、後期科目については後期初めの定められた期間に登録しなければなりません。
- (2) 履修登録の手続きをしないと、授業を受けることはもちろん、定期試験の受験資格もありませんので、単位も認定されません。
- (3) 履修登録期間①、履修登録期間②のどちらの期間でも履修登録は可能です。①の期間は抽選科目の予備登録期間となっています。（「5. 抽選科目の登録について」参照）
- (4) 履修登録日程、会場については掲示で確認して下さい。
- (5) 履修登録は指定のコンピュータ室のパソコンから行います。
- (6) **学生証**と作成した時間割を必ず持参して下さい。
- (7) 履修登録期間以降の登録・追加訂正は、理由の如何にかかわらず一切できません。
- (8) 病気等やむを得ない事情で、この期間に履修登録ができない場合は、履修登録最終日の16：00までに学務課に相談し指示を受けて下さい。
- (9) 不測の事態が起こる場合を考慮し、早めに履修登録を完了するよう心がけて下さい。

4. 履修登録上の注意

- (1) 履修登録期間中であれば登録内容の変更が可能です。
- (2) 次の科目は履修登録画面にあらかじめ表示されています。ただし、これらの科目も本人が履修登録を確定しないと登録したことにはなりません。
 - ①指定科目（該当学年の必修科目など）
 - ②事前申請科目
 - ※ただし事前申請をした「第二外国語Ⅰ」はあらかじめ表示されません。申請した曜日・時限の該当科目を選択して下さい。
 - ③受講を許可された抽選科目
 - ※履修登録②の期間に表示されます。
 - ※履修登録の画面上に青色で表示されている科目は変更できません。
- (3) 履修可能な科目が画面に表示されない場合は、直ちに学務課に連絡をして下さい。
※クラスや学年指定のある科目、事前申請科目などは、その科目を履修できる学生のみに表示されます。また、修得済みの科目は表示されません。
- (4) 履修登録の最後に「履修登録表〔仮〕」が印刷されます。**最終更新日の「履修登録表〔仮〕」は必ず保管しておいて下さい。**
- (5) 「履修登録表〔仮〕」で、履修すべき科目が登録できたかを確認するとともに、科目群ごとの卒業所要単位の充足見込みについても必ず確認して下さい。
- (6) 卒業見込みの4年生で、前期・通年科目の履修登録の段階で卒業要件が満たされない場合に、「卒業要件を満たしていません」というエラーメッセージが表示されます。卒業見込み生は必ず1年間の時間割を作成し、後期履修登録をもって卒業要件を満たすことを確認した上で前期・通年科目の履修登録を行うよう注意して下さい。

5. 抽選科目の登録について

- (1) 抽選科目の履修希望者は、履修登録①の期間に履修登録会場のパソコンから「予備登録」をしなければなりません。
※初回授業時に抽選を行う科目がありますが、その場合は必ず初回授業に出席し、受講を許可された場合に「予備登録」を行って下さい。
- (2) 受講希望者が定員を超えた場合に抽選を行い、履修登録期間①以降に結果を学内に掲示します。追加募集を行う科目も同時に掲示します。
- (3) 受講を許可された学生は、履修登録②の期間に、履修登録画面に受講を許可された科目が表示されているか確認して下さい。（取消しはできません。）
- (4) 抽選にもれた学生は、履修登録②の期間に履修登録画面で予備登録を行った科目が取消しになっているかを確認し、必要に応じて他の科目の登録を行って下さい。
- (5) 定員に余裕のある抽選科目は、履修登録期間②に履修登録画面より先着順で追加登録を受付けます。（定員に達した科目は選択できなくなります。）
- (6) 抽選を実施する科目および方法については、時間割、掲示等で確認して下さい。

6. 履修科目の確定

- (1) 履修登録期間終了後、「履修確認・申出期間」に学生情報端末機から「履修確認表」を出力し、保管しておいた「履修登録表〔仮〕」(最終更新日のもの)と照合して下さい。万一「履修確認表」の内容に誤りがある場合は、申出期間内に学務課まで申し出て下さい。
- (2) 履修確認・申出期間以降の申し出は一切受け付けません。
- (3) 「履修確認表」の内容で、前期・通年科目の履修者が確定します。履修者名簿に記載のない学生は、授業への出席資格および定期試験の受験資格はありませんので、単位も認定されません。

試験および成績

履修登録をした科目の単位認定を受けるためには、定期試験を受験しなければなりません。ここでは、試験の種類・方法・受験資格等について記載してあります。また、試験の結果通知方法も説明してあるので熟読のして下さい。

1. 試験について

- 試験の種類**
- (1) 前期定期試験：前期末に実施する試験
 - (2) 後期定期試験：後期末・学年末に実施する試験
 - (3) 追 試 験：『試験規則』に基づき、やむを得ない事情で定期試験を受験できなかった場合に実施することがあります。
 - (4) 再 試 験：『試験規則』に基づき、不合格科目に対して実施することがあります。
 - (5) そ の 他：科目によっては必要に応じて随時試験を行うこともあります。

- 試験の方法**
- (1) 筆記試験
 - (2) レポート（論文）
 - (3) 実技・実験・実習 等
- ※ 定期試験の期間に実施されるのは主に筆記試験を対象としており、その他の評価方法による場合は、担当の先生から指示を受けてください。

受験資格 次の要件を満たさなければ受験資格がありません。

- (1) 受験科目の履修登録をしている。
- (2) 授業料、その他学納金を期日までに納入している。
- (3) 試験開始後30分以内に着席している。
- (4) 学生証を所持している。
- (5) 受験する授業科目に $\frac{2}{3}$ 以上出席している。

これは不可抗力による欠席の可能性を考慮してのことであり、 $\frac{1}{3}$ まで欠席してもよいということではありません。

- ※ 上記以外の場合でも、その他の理由により受験資格に欠格がある場合には、受験を認めません。

- 受験の注意**
- (1) 受 験 科 目：履修登録した授業科目に限ります。
未登録の授業科目を受験しても評価の対象にはなりません。
 - (2) 受 験 会 場：必ず指定された教室で受験してください。
 - (3) 学生証携帯：必ず『学生証』を携帯し、試験監督者が確認し易い位置（通路側）に置いてください。

【受験時の学生証取扱について】

- ① 学生証を忘れた場合
「仮学生証発行願」に必要事項を記入し、200円の証紙を貼付の上、学務課に願い出て、「仮学生証」の交付を受けてから受験してください。仮学生証は、発行当日限り有効です。
- ② 学生証の印字が消えて読めない及び顔写真が不鮮明で判別できない場合
学生証不携帯と同様にみなされる可能性があるため、必ず、試験期間前に学務課にて再発行の手続きをしておいてください。
受験の際、試験監督者等から指摘をうけた場合は、「①学生証を忘れた場合」と同様、「仮学生証」の交付を受けてから受験してください。

- (4) 遅刻及び退出：遅刻——試験開始から30分間
退出——試験開始から40分以降 } は認めず。
監督者の指示があるときはその指示に従ってください。
- (5) 答案記入事項：年次・クラス・学籍番号・氏名・その他 必要事項を明記してください。未提出、無記名の答案は全て無効となります。
- (6) 出席カード：マークシートは必ず HB または B の鉛筆を使用してください。
- (7) 机上許可の物：学生証・筆記用具（ペンケース・下敷きは不可）
その他 監督者が特に許可したもの
ノート・参考書等の持込みが許されている授業科目を受験する時は、必ず自分のものを使用しなければなりません。
携帯電話の電源は必ず OFF にしておいてください。
- (8) 不正行為：不正行為があった場合、ただちに退出を命じ答案は没収します。
当期試験科目を無効とします。
また、学則に基づき訓告、**停学**および**退学**の懲戒処分を行います。
注) 試験中の貸借は不正行為とみなします。
- (9) その他：試験場内における全てのことについては、監督者の指示に従って行動しなければなりません。

試験時間割

原則として、試験期間の1週間前に掲示板・本学ホームページに発表します。
平常授業時間割の時間帯・教室・曜日と異なることがあるので、注意してください。
掲示発表後、時間割の変更が生じた場合、掲示発表の時間割を変更・訂正するので、受験前には必ず再度確認をしてください。

レポート

科目により平常授業中や試験期間内にレポート提出が求められることがあります。
提出にあたり次の事項を遵守し、決められた日時に必ず提出してください。
また、一度提出されたレポートは一切返却しません。

- (1) 作成上の注意：レポートは試験に準ずるもので、独力で作成すべきものです。従って、不正行為については筆記試験と同様に扱います。
※一旦提出したレポートはいかなる理由があっても返却しません。
- (2) 綴じ方：必ず所定の表紙（学務課窓口）を付け、『授業科目名』『論題』学籍番号・氏名を黒か青のペンで明記してください。
（自分で紐またはホチキスで綴じた完全なものを提出すること。）
- (3) 提出先：科目担当教員に提出するものと、**提出物回収ボックス**に提出するものがあります。
【提出物回収ボックス】提出期限日の締切時間は各教員の指定に従って下さい。締切時間以後一切受付ません。

《レポート綴じ方、表紙記入例》

- ・ 記入項目は全て黒または青のペンで記入
- ・ 記入欄にはモシのないよう全て記入

「横書き」の場合は上部を綴じてください。

追 試 験 定期試験当日、本人の病気・天災・交通事故・就職試験・忌引その他やむを得ない事由により受験できなかった者に対しては、追試験を行います。

- (1) 願出期限：当該科目の試験の翌日から、2日以内（日曜・祝祭日を除く）
- (2) 添付書類：当該試験欠席の事由を裏付ける第三者の証明書
例）医師の診断書、電車・バスの遅延証明書、就職試験受験証明書、二親等以内の親族の死亡による忌引の場合は葬祭通知書か証明書など
- (3) 受験手続：願出期限内に上記の証明書を添え、学務課に「追試験願届」を提出し、受験の許可を受けてください。
なお、1科目につき受験料3千円を納入しなければなりません。
※受験時に、学生証と共に「追試験願控」を提示してください。
- (4) 受験日程：掲示発表
- (5) 成績評価：最高80点とします。
- (6) そ の 他：追試験の追試験は行いません。

再 試 験 (1) 白鷗大学試験規則

第7条 卒業所要単位の全部を満たすのに足りない単位数が8単位以内である4年生（留年生を含む。）は、次の各号のすべてに該当する科目に限り、かつ卒業所要単位の全部を満たすのに最低限必要な科目数に限り、申請により、再試験を受けることができる。

- (1) その年度に登録された科目であること
- (2) 「D」評価となった科目であること
- (3) 各学部教授会が再試験の受験を認めていない科目ではないこと

2 再試験は、年1回、学年末に実施する。

3 再試験における成績評価は、最高69点とする。

- (2) 願出期間：掲示発表
- (3) 受験手続：願出期日に学務課に受験を申し出て、「再試験願」を受け取り必要事項を記入して、受験の許可を受けてください。なお、1科目につき受験料6千円を納入しなければなりません。
受験時に、学生証と共に「再試験願（学生控）」を提示してください。
- (4) 受験日程：掲示発表
- (5) 成績評価：合格点に達した場合は、C評価となります。
- (6) そ の 他：再試験の追・再試験は行いません。

再試験の対象とならない科目

【教育学部（2007年度以降入学者）】（平成20年4月現在）

全 専 攻 共 通 科 目				
フレッシュマンセミナー 総合演習 レクリエーション実技 レクリエーション実習 野外運動 A（キャンプ） 野外運動 B（雪上） 卒業研究 体育実技 A / 体育実技 B（児童教育専攻・英語教育専攻・心理学専攻のみ）				
A 欄	児童教育専攻	スポーツ健康専攻	英語教育専攻	心理学専攻
	小児保健実習 ゼミナール	陸上運動Ⅰ 陸上運動Ⅱ 器械運動Ⅰ 器械運動Ⅱ ダンスⅠ ダンスⅡ バスケットボール テニス サッカー 水泳 柔道 剣道 バレーボール 野球（ソフトボール） ラグビー	体づくり運動 スポーツ科学入門 トレーニング実習Ⅰ トレーニング実習Ⅱ ニュースポーツ 野外運動C(アドバンス) 体育・スポーツ実践 事例研究 スポーツ科学実験演習 スポーツインターンシップ 専門演習 A 1 専門演習 A 2 専門演習 B 1 専門演習 B 2	オールプレゼンテーション 英語スタディスキルズ コミュニケーションⅠ A コミュニケーションⅠ B コミュニケーションⅡ A コミュニケーションⅡ B ライティング初級 ライティング中級 ライティング上級 アカデミックライティング 音声学演習 課題研究 A 課題研究 B 海外留学 短期海外研修
△ 欄以外科目	<ul style="list-style-type: none"> ・他学部・他専攻等科目のうち、当該の学部、専攻等が再試験の対象としていない科目 ・「コンソーシアムとちぎ」での開講科目 ・放送大学科目（放送大学で再試験を受験し合格した場合でも、本学では再試験対象外の科目となるため単位認定にはならない） ・実習科目 ・随意科目 			

【発達科学部（2006年度以前入学者）】（平成20年4月現在）

児童教育専攻		スポーツ健康専攻	
A 欄	スポーツと健康 小児保健実習 心理学基礎実験 心理学実験調査法 レクリエーション実技 レクリエーション実習 フレッシュマンセミナー 野外運動A 野外運動B 課題研究A 課題研究B 卒業研究	実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習	陸上運動Ⅰ 陸上運動Ⅱ 器械運動Ⅰ 器械運動Ⅱ 水泳 柔道 ダンスⅠ ダンスⅡ バスケットボール バレーボール 野球（ソフト） テニス
	実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習	実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習	実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習 実技理論・実習
△ 欄以外科目	<ul style="list-style-type: none"> ・他学部・他専攻等科目のうち、当該の学部・専攻等が再試験の対象としていない科目 ・コンソーシアムとちぎでの開講科目 ・放送大学科目（放送大学で再試験を受験し合格した場合でも、本学では再試験対象外の科目となるため単位認定にはならない） ・実習科目 ・小学校教職課程科目（児童教育専攻のみ） ・随意科目 		

共通
試験・成績

2. 成績の評価・発表について

単位の認定 単位の修得は、定期試験の結果によりますが、授業科目によっては教室における授業時間中の筆記試験・レポート提出・平常の学修状況等により、総合的に考慮して判定することがあります。

単位認定条件 試験受験資格に、原則として授業への出席（2/3以上）が挙げられているように、単位の認定は、授業への出席を条件とします。
また、学納金が完納されない場合は受験しても単位は認定されません。

成績評価 学業成績の評価は、次のようになる。

判定	合 格					不 合 格	失 格
評価	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	再試験合格	59点以下	欠席多 試験・レポート等放棄
	S	A	B	C1	C2	D	H

※就職活動等に使用する成績単位取得証明書には、SはA、C1・C2はCと表示され、D・Hは表示されません。

成績発表 (1) 成績結果：履修科目の成績結果は、前期科目は8月下旬頃、通年・後期科目は2月中旬頃「成績通知表」を学生情報端末から出力し確認してください。（一定期間無料）発行時期などの詳細は掲示します。
通年科目の単位付与は、前期及び後期の成績を総合して判定し、評価を付して学年終了時に与えます。従って、半期のみ履修しても、単位は与えられません。

(2) 通知表の送付：追って前期科目および後期科目を含む今年度の成績を、保護者宛に送付します。

(3) その他：「成績通知表」は、次期の履修登録の資料となるので、大切に保管しておいてください。紛失した場合は、学生情報端末・印刷装置（有料）で出力してください。

*卒業見込生は、細心の注意をはらって卒業要件が充足されているかを確認してください。

*「成績通知表」で科目群ごとの卒業所要単位数が、充足されているかを確認してください。

合計単位数のみの確認では不十分です。科目の偏りに特に注意してください。

成績調査 「成績通知表」で評価内容を確認し、万一評価に疑問がある場合には、学務課に申し出て、成績調査を申請することができます。「成績調査申請書」を受け取り、必要事項を記入、所定期間内に提出してください。日程等の詳細は、掲示します。ただし、この調査は学生に成績変更の「交渉権」を認めるものではありません。

対象科目・評価：その年度に履修登録された「全科目」「全評価」
実施期間：(前期科目) 8月下旬、(後期・通年科目) 2月末を予定。

3. 卒業発表

共通

試験・成績

- 卒業発表** 卒業判定会議終了後、判定結果を保護者宛に通知します。(3月上旬予定)
(卒業確定者を、学内掲示板に掲示します。)
- 卒業確定者は、卒業式に出席し、卒業証書・学位記の授与を受けてください。
(卒業判定結果に関する電話による問い合わせには一切応じません)

2008年度

I 教育目標

II 教育課程

III 児童教育専攻

IV スポーツ健康専攻

V 英語教育専攻

VI 心理学専攻

教育学部 発達科学科

児童教育専攻

スポーツ健康専攻

英語教育専攻

心理学専攻

目 次

I	教育目標	27
	1. 教育目標	
II	教育課程	31
	1. 単位の計算	
	2. 単位の認定・評価	
	3. 授業科目の区分・性格等	
	4. 履修年次	
	5. 年間最高履修登録単位数	
	6. 進級について	
	7. 修業年限および在学年限	
	8. 卒業要件	
III	児童教育専攻	37
	1. 児童教育専攻	
	(1) I群：外国語必修科目	(2) II群：外国語・教養選択科目
	(3) III群：専攻必修科目	(4)・(5) IV群：専門選択科目, V群：卒業研究
	(6) 自由選択	(7) 実習科目
	(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目	(9) 学校図書館司書教諭科目
	(10) 随意科目	(11) 再履修について
	2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 児童教育専攻）	
	3. 児童教育専攻 卒業と免許・資格別所要単位数	
IV	スポーツ健康専攻	51
	1. スポーツ健康専攻	
	(1) I群：外国語必修科目	(2) II群：外国語・教養選択科目
	(3) III群：専攻必修科目	(4) IV群：専門選択科目
	(5) V群：卒業研究	(6) 自由選択
	(7) 実習科目	(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目
	(9) 学校図書館司書教諭科目	(10) 随意科目
	(11) 再履修について	
	2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 スポーツ健康専攻）	
	3. スポーツ健康専攻 卒業・免許別所要単位数	

V 英語教育専攻 65

1. 英語教育専攻

- | | |
|-----------------|----------------------|
| (1) I群：外国語必修科目 | (2) II群：外国語・教養選択科目 |
| (3) III群：専攻必修科目 | (4) IV群：専門選択科目 |
| (5) V群：卒業研究 | (6) 自由選択 |
| (7) 実習科目 | (8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目 |
| (9) 学校図書館司書教諭科目 | (10) 随意科目 |
| (11) 再履修について | |

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 英語教育専攻）

3. 英語教育専攻 卒業・免許別所要単位数

VI 心理学専攻 79

1. 心理学専攻

- | | |
|-----------------|----------------------|
| (1) I群：外国語必修科目 | (2) II群：外国語・教養選択科目 |
| (3) III群：専攻必修科目 | (4) IV群：専門選択科目 |
| (5) V群：卒業研究 | (6) 自由選択 |
| (7) 実習科目 | (8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目 |
| (9) 学校図書館司書教諭科目 | (10) 随意科目 |
| (11) 再履修について | |

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 心理学専攻）

3. 心理学専攻 卒業・免許別所要単位数

I 教育目標

1. 教育目標

教育学部は教員養成に特化したカリキュラムを提供するだけでなく、それと同時に、人間の成長、発達にかかわる学習、教育の諸問題、とくにスポーツ、健康、心の平安、心理、国際化時代に備える英語の学習について総合的に学べるカリキュラムを提供している。そのために次の三点を主要な教育目標としている。

第1は、教養と専門知識のバランスを考慮しながら、将来の多様な職業と結びついた実践的な教育を重点的に行うことである。それにより卒業後、ただちにプロフェッショナルとして自立した職業人として活躍できる人材を輩出しようとするのである。

第2は、コミュニケーション能力の高い学生を育てることである。本学は、教員、職業人、指導者、また地域の生活者として、他者と協力しながら専門的知識を最大限に伝達できるような語学力、情報処理能力のみならず、プレゼンテーション能力の高い人材の育成を目指している。

第3は、大学が地域社会に積極的に貢献することを目指していることである。地域にとって有用な情報、人材の発信基地あるいはネットワークの中心として機能していこうとしている。

これらの教育目標を達成するために、人間の誕生から老齢期まで常に発達し続ける人間そのものを対象に複雑かつ多岐にわたる問題を保育、福祉、教育、健康、スポーツ、外国語の学習、心理といった複眼的視点から分析、考察できる学生を育成すると同時に、地域社会の中でそうした機能を果していきたいと考えている。

また、本学は教員養成に特化した教職、資格課程を設置しているが、これは履修する学生諸君全員に対し約束するものではない。この教職、資格課程を履修する場合、このことを十分理解した上で、履修計画、自分自身の将来設計を慎重に考えてほしいと思う。

教職員はこれらの教育目標を達成するために学生へのサポート、アドバイスを積極的に提供していく。

以上

II 教育課程

— 単位制と単位について —

本学における授業科目の履修については、文部科学省の「大学設置基準」に定められた単位制に基づいて行われる。単位制とは、所定の科目を履修することにより、それらの科目ごとに定められている単位を順次取得し、原則として4ヶ年の在学期間のうちに卒業に必要な単位を修得する制度である。

単位制における単位とは、その科目を修得するのに必要な学修時間を示したものであるが、**1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする。**単に授業を受けるだけでなく、教室において行われる学修指導に留意し、授業の準備のための学修時間も重視しながら、自主的に研究を進める必要がある。

こうして単位を集積し、卒業の要件を満たしていくことになる。

従って、卒業の要件を満たしていくうえでの、最も基本的な事項なので、単位制についての正しい理解が要求される。

1. 単位の計算

単位の計算

本学では1コマの授業を90分で行い、これを2時間とし大学設置基準に基づき、本学の学則により次の範囲で単位を計算している。

- ① 講義及び演習については、15時間～30時間までの範囲の授業時間数をもって1単位とする。
- ② 実験・実習及び実技については、30時間～45時間までの範囲の授業時間数をもって1単位とする。

(注)・半期授業回数を15回として計算した場合
・通年授業回数を30回として計算した場合

授業形態別の単位に対する学修時間

授業形態	授業科目の区分	週1回の授業 (1コマ90分)	1単位に対し45時間の学修時間が 必要 単位(学修必要時間)	授業回数	週1回の授業に 対する 学生の 授業 時間 外の 学修 時間
講義科目	基本科目：授業15時間で1単位	半期授業	2単位(90時間)	15回	4時間
		通年授業	4単位(180時間)	30回	
	別に定めた科目：授業30時間で1単位	半期授業	1単位(45時間)	15回	1時間
		通年授業	2単位(90時間)	30回	
演習科目	基本科目：授業30時間で1単位	半期授業	1単位(45時間)	15回	1時間
		通年授業	2単位(90時間)	30回	
	別に定めた科目：授業15時間で1単位	半期授業	2単位(90時間)	15回	4時間
		通年授業	4単位(180時間)	30回	
	週2回の科目	通年授業	4単位(180時間)	60回	1時間(週2回で2時間)
実験・実習 及び 実技科目	基本科目：授業45時間で1単位	学外での 実習	2単位(90時間)	実習の種類により異なる 仮に1日8時間で計算すると11.3日間	
			4単位(180時間)	実習の種類により異なる 仮に1日8時間で計算すると22.5日間	
	別に定めた科目：授業30時間で1単位	半期授業	1単位(45時間)	15回	1時間
		通年授業	2単位(90時間)	30回	

(授業形態や授業内容、授業開講期間等によって単位数が異なる。)

2. 単位の認定・評価

単位の認定 単位の認定は、原則として出席状況及び定期試験の結果によるが、授業時間中の筆記試験・レポートの提出・平素の学修状況等も含めて、判定する授業科目もある。

成績の評価 学業成績の評価は、次のようになる。

判定	合 格					不 合 格	失 格
評価	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	再試験合格	59点以下	欠席多 試験・レポート等放棄
	S	A	B	C1	C2	D	H

3. 授業科目の区分・性格等

授業科目の区分

児童教育専攻・スポーツ健康専攻・英語教育専攻・心理学専攻	
I群	外国語必修科目
II群	外国語・教養選択科目
III群	専攻必修科目
IV群	専門選択科目
V群	卒業研究

* 卒業所要単位には含まれない科目

実 習 科 目*
学校図書館司書教諭科目*
随 意 科 目*

科目区分の性格

授業科目の性格は、次のように区分される。

- (1) 必修科目：必ず履修しなければならない科目
- (2) 選択必修科目：定められた一定の範囲の中から、必要な単位数や科目数だけ必ず履修しなければならない科目
- (3) 選択科目：履修するかどうかを自由に選択できる科目
- (4) 実習科目：卒業所要単位には含まれないが、各種資格取得のために必要な実習科目
- (5) 学校図書館司書教諭科目：卒業所要単位には含まれないが、学校図書館司書教諭取得のために必要な科目 対象：小、中、高免履修者
- (6) 随意科目：卒業所要単位には含まれない科目

Semester制

1年間を複数学期に分割し、授業科目を学期（Semester）毎に完結する授業形態をいう。各学期が15週程度の2学期制（前期・後期）の伝統的なSemester制や、3学期制・4学期制等のSemester制もある。定期試験や成績発表は学期ごとに行われる。

開講期間等

半期科目…前期又は後期で授業を開講する。
 通年科目…1年間を通して授業を開講する。
 集中講義…1日に数コマ集中して授業を行ったり、宿泊等で開講する。

4. 履修年次

- 履修年次** 授業科目により、履修できる年次が決められている。これらの科目については、上級年次の学生が下級年次の授業科目を履修することはできるが、下級年次の学生が上級年次の授業科目を履修することはできない。
- 科目の性質によりステップを踏んで履修した方が学修効果上がるものがあるため、『履修要綱』を参照し、学修手順に十分配慮して履修することが望ましい。

5. 年間最高履修登録単位数

年間最高履修登録単位数

年間最高履修登録単位数とは、1年間に科目の履修登録ができる単位の上限を示す。すなわち、各年次において1年間に表記の単位を超えて履修登録はできない。よって、卒業までの4年間において、計画的な履修登録が望まれる。但し、実習科目、学校図書館司書教諭科目、及び随意科目の履修単位は含まれない。

教育学部 発達科学科				
1年次	2年次	3年次	4年次	合計
50単位	50単位	50単位	50単位	200単位

6. 進級について

- 進級要件** 進級要件は特に定めない。従って、休学等の場合を除き、4年次まで進級する。4年間で卒業の要件の単位を充足できない場合は、4年次に留まることになる。

7. 修業年限および在学年限

- 修業年限** 修業年限は4年とする。
- 在学年限** 在学年限は、特別な場合を除き8年とする。〔『学則』参照のこと。〕

8. 卒業要件

卒業認定 4年間以上在学し、学納金を完納し、次の科目区分の群ごとの卒業所要単位数を充足した者は、教授会の議を経て、学長より卒業の認定を受ける。卒業の認定を受けた者には、卒業証書が授与されるとともに、“学士（発達科学）”の学位が与えられる。

卒業所要単位数

科目群名		児童教育専攻	スポーツ健康専攻	英語教育専攻	心理学専攻
I群	外国語必修科目	4単位	4単位	4単位	4単位
II群	外国語・教養選択科目	16単位	16単位	16単位	16単位
III群	専攻必修科目	1単位	1単位	1単位	1単位
IV群	専門選択科目	74単位	74単位	74単位	74単位
V群	卒業研究	4単位	4単位	4単位	4単位
自由選択		25単位	25単位	25単位	25単位
合計		124単位	124単位	124単位	124単位
実習科目		(注1)	(注1)	(注1)	(注1)
学校図書館司書教諭科目		(注2)	(注2)	(注2)	(注2)
随意科目		(注3)	(注3)	(注3)	(注3)

(注1) 当該免許・資格に開設された科目の履修を必要とするが、卒業所要単位に含まない。

(注2) 卒業所要単位には含まれない。小中高免許履修者が対象。

(注3) 卒業所要単位には含まれない。

★注意：卒業する時まで入学時のカリキュラム（教育課程）が適用されるため、該当入学年度のカリキュラム・時間割等の資料を参照すること。

Ⅲ 児童教育専攻

— 各科目の履修方法について —

教育学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。

これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。
「Ⅱ 教育課程－8. 卒業要件」(参照)

ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で表示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

1. 児童教育専攻

小学校教育コースの目標

小学校教育コースは、小学校の教員を養成することを目標としています。

小学校教育は生涯の基礎を築く学力・体力・人格の育成を担い、小学校教員の重責は論を待ちません。計画的で着実な努力により学力・体力を養うとともに多面的な活動を通して自らの人格を磨かねばなりません。小学校教諭一種免許に加えて幼稚園教諭一種免許が取得できます。

幼児教育・保育コースの目標

幼児教育・保育コースは、学校教育法に基づく幼稚園教諭一種免許、および児童福祉法に基づく保育士資格の取得を目標にして学修するコースです。

前者は幼稚園で勤務するための免許ですが、後者は保育所をはじめとして、乳児院や児童養護施設など、さまざまなタイプの児童福祉施設で勤務することができる資格です。

したがって本コースでは、幼児教育および児童福祉に関する学習を基本にして、乳児保育や小児保健、乳幼児期から青年期に至る心身の成長について、さらには言葉や音楽、絵画や制作など、さまざまな保育内容や保育の方法について学ぶこととなります。加えて、免許・資格を取得するためには、幼稚園や保育所、その他の児童福祉施設での実習が必修です。

◆児童教育専攻 卒業所要単位

科目群名	卒業所要単位
I群 外国語必修科目	4単位
II群 外国語・教養選択科目	16単位
III群 専攻必修科目	1単位
IV群 専門選択科目	74単位
V群 卒業研究	4単位
自由選択	25単位
合計	124単位
実習科目	(注1)
学校図書館司書教諭科目	(注2)
随意科目	(注3)

(注1) 当該免許・資格に開設された科目の履修を必要とするが卒業所要単位に含まない。

(注2) 卒業所要単位に含まない。(対象：小学校免許履修者)

(注3) 卒業所要単位に含まない。

(1) I群：外国語必修科目

I群：外国語必修科目……計2科目4単位が必修。

(2) II群：外国語・教養選択科目

II群の外国語・教養科目は全て選択科目となり、16単位以上修得すること。

(3) III群：専攻必修科目

III群：専攻必修科目……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は文献資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と議論したり準備が必要となる科目である。①大学の学習システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。担当教員はクラス担任を兼ねるので、4年間継続して学生の学習や個人的な悩み事の相談、進路相談などにも応じることになっている。担当教員の研究室を積極的に訪ね、コミュニケーションを図ること。

(4)・(5) IV群：専門選択科目、V群：卒業研究

「ゼミナール」、「卒業研究」について

大学で履修する科目は、講義形式と演習形式に大別される。講義形式の科目は履修者も多く、説明や板書による授業が中心で、ともすれば教員が一方向的に内容を教授することが多い。これに対して演習形式の科目では、少人数の学生を対象とし、講義に加えて教員と学生の間でのディスカッションも行われ、双方向の授業が展開される。児童教育専攻には演習形式の科目が多数設定されているが、とりわけ「ゼミナール」と「卒業研究」では、担当教員と学生の間で、学習・研究における指導は言うまでもなく、進路や人生の面にまで及ぶ濃密な人間関係が構築される。すなわち大学生活において最も学問探究の喜びを感じることができ、また人生について思索できる科目である。

3年次に履修する「ゼミナール（通年4単位）」は、担当教員の専門分野ごとに10名前後の学生によって構成される。2年次の後期に教員ごとに研究テーマが発表され、学生は関心のある教員を選択することになる。なお応募人数の状況によっては、志望理由書や面接等によって選考を行うこともある。この科目は必修科目ではないが、4年次の「卒業研究」において卒業論文を作成予定の学生は、必ず履修しなければならない。

4年次で履修する「卒業研究（通年4単位）」は、必修科目である。この科目では、卒業論文または研究ノートの指導が中心となる。卒業論文は、担当教員の専門分野に即した内容に関して、資料を収集した上で規定の書式に則って執筆する。なお前述のように3年次に「ゼミナール」を履修済みであることを条件とし、「ゼミナール」と同一の教員の下で指導を受けることを原則とする。研究ノートは、担当教員が選定した数冊の書籍の中から関心のある一冊を選択し、その内容を正確に要約した上で関連事項を付記する。単なるレポートではないので、相当枚数の提出が求められる。卒業論文の場合と異なり、3年次の「ゼミナール」の履修は任意であるが、冒頭にも記したように、大学生活を意義あるものとするために履修を強く勧める。

(6) 自由選択

卒業所要単位にあるように、卒業するためにはI群～V群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。各必要単位を合計すると99単位となる。卒業の要件の単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。

この25単位には、①I群～V群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修（一部の科目）で修得した単位を充てることができる。

①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

- ・この科目は卒業所要単位には含まれない。
- ・教育職員免許状や各種資格取得のための実習及び、それらに関わる科目のうち卒業所要単位として加算されない科目である。免許や資格取得希望者は該当科目を修得しないと取得ができなくなるので注意すること。

《児童教育専攻》

科 目 群	該当の免許・資格種類
実 習 科 目	小学校教諭一種免許状
	幼稚園教諭一種免許状
	保 育 士
	社会福祉士受験資格

- ・希望する免許・資格関係科目以外は履修できない。履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「免許および資格取得の手引き（基礎）」を参照のこと。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

教育学部は、他大学、他学部・他専攻（一部の科目）等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択単位として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

オーストラリア（ブリスベン）「グリフィス大学」、アメリカ合衆国（インディアナ）インディアナ大学、台湾（南台）南台科技大學の3つの大学と交換留学を行っている。募集要項を掲示するので、希望者は所定期間内に志願し、手続きをすること。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

（注）平成20年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板を確認すること。

(9) 学校図書館司書教諭科目

学校図書館司書教諭とは、小学校、中学校及び高等学校において、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校図書館の専門的職務に従事する教諭をいいます。

学校図書館司書教諭は、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導等を行うなど、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担うもので、本学ではこの資格の取得に必要な科目を開講しています。

1. 受講資格

本学において学校図書館司書教諭講習を受講できる者は次の通りです。

- ・本学において小学校・中学校・高等学校のいずれかの教育職員免許状取得希望の登録をしている2年生以上の者
(平成20年度より受講資格が変更になりました。)

[注] 詳細は学内掲示板に掲示します。

(10) 随意科目

卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。

科目が指定され、科目によっては履修対象者が限定されることがある。また、履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

(11) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。
必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次配当科目より授業科目を履修できる。
各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。
※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する場合があるので、掲示等でよく確認すること。

I 群：外国語必修科目 1クラスの人数に制限があるため、学務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II 群：外国語・教養選択科目 開講科目の中から、不足単位分を修得する。別科目を選択してもよい。

Ⅲ群：専攻必修科目 (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。

Ⅳ群：専門選択科目・Ⅴ群：卒業研究

- ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
- ・ゼミナールや卒業研究科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 児童教育専攻）

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	各種資格関係科目						
				必修	選択			小学教職課程	一幼稚園	一幼稚園	保育士	社会福祉士		
Ⅰ群	外国語必修科目	通年	演習	英語コミュニケーションⅠ	2		1	4単位	*	*	*	*	卒	必
		通年	演習	英語コミュニケーションⅡ	2		2		卒	必	卒	必	卒	必
Ⅱ群	外国語・教養選択科目	通年	演習	リーディングⅠ		2	1～	16単位						
		通年	演習	リーディングⅡ		2	2～							
		通年	演習	ライティングⅠ		2	1～							
		通年	演習	ライティングⅡ		2	2～							
		通年	演習	TOEIC		2	2～							
		通2コマ	演習	ドイツ語Ⅰ		4	1～							
		通年	演習	ドイツ語Ⅱ		2	2～							
		通年	演習	ドイツ語Ⅲ		2	2～							
		通年	演習	ドイツ語Ⅳ		2	2～							
		通2コマ	演習	フランス語Ⅰ		4	1～							
		通年	演習	フランス語Ⅱ		2	2～							
		通年	演習	フランス語Ⅲ		2	2～							
		通年	演習	フランス語Ⅳ		2	2～							
		通2コマ	演習	スペイン語Ⅰ		4	1～							
		通年	演習	スペイン語Ⅱ		2	2～							
		通年	演習	スペイン語Ⅲ		2	2～							
		通年	演習	スペイン語Ⅳ		2	2～							
		通2コマ	演習	中国語Ⅰ		4	1～							
		通年	演習	中国語Ⅱ		2	2～							
		通年	演習	中国語Ⅲ		2	2～							
		通年	演習	中国語Ⅳ		2	2～							
		半期	講義		歴史学A		2		1～					
		半期	講義		歴史学B		2		1～					
		半期	講義		日本史概論		2		1～					
		半期	講義		外国史概論		2		1～					
		半期	講義		地理学A		2		1～					
		半期	講義		地理学B		2		1～					
		半期	講義		地理学概論（地誌を含む）		2		1～					
		半期	講義		倫理学A		2		1～					
		半期	講義		倫理学B		2		1～					
		半期	講義		応用倫理		2		1～					
		半期	講義		倫理学概論		2		1～					
半期	講義		哲学A		2	1～								
半期	講義		哲学B		2	1～								

Ⅲ
児童教育
07～08

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	各種資格関係科目				
				必修	選択			小学教員コース 一小学種校	幼児教育 一幼稚園	保育士 一幼稚園	社会福祉士 一社会福祉士	一社会福祉士
II 群	外国語・教養選択科目	半期	講義	哲学概論	2	1~	(16単位)					
		半期	講義	文学A	2	1~						
		半期	講義	文学B	2	1~						
		半2コマ	講義	論理学	4	1~						
		半期	講義	批判的思考	2	1~						
		半期	講義	国語表現法A	2	1~						
		半期	講義	国語表現法B	2	1~						
		半期	講義	美学A	2	1~						
		半期	講義	美学B	2	1~						
		半期	講義	比較文化論A	2	1~						
		半期	講義	比較文化論B	2	1~						
		半期	講義	文化人類学A	2	1~						
		半期	講義	文化人類学B	2	1~						
		半期	講義	社会学A	2	1~						
		半期	講義	社会学B	2	1~						*
		半期	講義	法学A	2	1~						*
		半期	講義	法学B	2	1~						
		半期	講義	統計学A	2	1~						
		半期	講義	統計学B	2	1~						
		半期	講義	心理学A	2	1~						
		半期	講義	心理学B	2	1~						
		半期	講義	社会心理学A	2	1~						
		半期	講義	社会心理学B	2	1~						
		半期	講義	政治学A	2	1~						
		半期	講義	政治学B	2	1~						
		半期	講義	情報社会科学A	2	1~						
		半期	講義	情報社会科学B	2	1~						
		半期	講義	環境科学A	2	1~						
		半期	講義	環境科学B	2	1~						
		半期	講義	代数学	2	1~						
		半期	講義	解析学	2	1~						
		半期	講義	数学概論	2	1~						
		半期	講義	物理学A	2	1~						
		半期	講義	物理学B	2	1~						
		半期	講義	化学A	2	1~						
		半期	講義	化学B	2	1~						

III
児童教育
07~08

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	各種資格関係科目						
				必修	選択			小学教職コース 一小学種校	幼児教育 一幼稚園	保育士 一幼稚園	保健士 一幼稚園	社会福祉士 一幼稚園		
Ⅱ群	外国語・教養選択科目	半期	講義	生物学A	2	1~	(16単位)							
		半期	講義	生物学B	2	1~								
		半期	講義	科学史A	2	1~								
		半期	講義	科学史B	2	1~								
		半期	講義	日本国憲法	2	1~		*	*	*	*			
		半期	講義	健康科学	2	1~						*		
		半期	実技	体育実技A	1	1~		*	*	*	*			
		半期	実技	体育実技B	1	1~		*	*	*				
		半期	演習	情報処理	2	1~		*	*	*	*			
Ⅲ群	専攻必修科目	半期	演習	フレッシュマンセミナー	1	1	1単位	卒必	卒必	卒必	卒必	卒必		
Ⅳ群	専門選択科目	教科専門科目	半期	講義	国語概説Ⅰ（書写を含む）	2	1~	74単位	*	*	*			
			半期	講義	国語概説Ⅱ（書写を含む）	2	3~		*	*	*			
			半期	講義	社会科概説Ⅰ	2	1~		*					
			半期	講義	社会科概説Ⅱ	2	3~		*					
			半期	講義	算数概説Ⅰ	2	1~		*	*	*			
			半期	講義	算数概説Ⅱ	2	3~		*	*	*			
			半期	講義	理科概説Ⅰ	2	1~		*					
			半期	講義	理科概説Ⅱ	2	3~		*					
			半期	講義	生活科概説Ⅰ	2	1~		*	*	*			
			半期	講義	生活科概説Ⅱ	2	3~		*	*	*			
			半期	講義	家庭科概説Ⅰ	2	1~		*					
			半期	講義	家庭科概説Ⅱ	2	3~		*					
			半期	講義	音楽概説Ⅰ	2	1~		*	*	*			
			半期	講義	音楽概説Ⅱ（声楽）	2	3~		*	*	*			
			半期	講義	音楽概説Ⅲ（器楽）	2	3~		*	*	*			
			半期	講義	図画工作概説Ⅰ	2	1~		*	*	*			
			半期	講義	図画工作概説Ⅱ（立体）	2	3~		*	*	*			
			半期	講義	図画工作概説Ⅲ（平面）	2	3~		*	*	*			
			半期	講義	体育概説Ⅰ	2	1~		*	*	*			
			半期	講義	体育概説Ⅱ	2	3~		*	*	*			
			通年	演習	ソルフェージュ	2	1~		*	*	*	*		
			通年	演習	造形	2	1~		*	*	*	*		
			半期	演習	子どもの運動	1	2~		*	*	*	*		
			教職専門科目	半期	講義	教師論	2		2~	*	*	*		
				半期	講義	教育基礎論	2		1~	*	*	*	*	
				半期	講義	教育心理学	2		1~	*	*	*	*	

Ⅲ
児童教育
07~08

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	資格関係				
				必修	選択			小学校種課程	幼稚園種園	幼児教育種園	保育士	児童指導員
IV 群	専門選択科目	教職専門科目	半期 講義 教育制度論	2		1~	(74単位)	*	*	*		
			半期 講義 教育課程論P	2		3~		*	*	*	*	
			半期 講義 国語科教育法	2		2~		*				
			半期 講義 社会科教育法	2		2~		*				
			半期 講義 算数科教育法	2		2~		*				
			半期 講義 理科教育法	2		2~		*				
			半期 講義 生活科教育法	2		2~		*				
			半期 講義 音楽科教育法	2		2~		*				
			半期 講義 図画工作科教育法	2		2~		*				
			半期 講義 家庭科教育法	2		2~		*				
			半期 講義 体育科教育法	2		2~		*				
			半期 演習 教育法演習A	1		3~		*				
			半期 演習 教育法演習B	1		3~		*				
			半期 演習 教育法演習C	1		3~		*				
			半期 講義 保育内容指導法 (健康)	2		3~				*	*	
			半期 講義 保育内容指導法 (人間関係)	2		3~				*	*	
			半期 講義 保育内容指導法 (環境)	2		3~				*	*	
			半期 講義 保育内容指導法 (言葉)	2		3~				*	*	
			半期 講義 保育内容指導法 (表現①)	2		3~				*	*	
			半期 講義 保育内容指導法 (表現②)	2		3~				*	*	
	半期 講義 保育内容指導法 (表現③)	2		3~				*	*			
	半期 講義 道德教育の理論と方法P	2		1~				◆	◆	◆		
	半期 講義 特別活動の理論と方法P	2		2~				◆				
	半期 講義 教育方法P	2		1~				*	*	*	*	
	半期 講義 生徒指導論 (進路指導を含む)	2		2~				◆				
	半期 講義 教育相談P	2		2~				◆	◆	◆		
	(注1) 演習 総合演習	2		2~				◆	◆	◆	◆	
	教科・教職関連科目	半期 講義 児童文学	2	1~				*	*	*		
		通年 演習 歌唱表現	2	2~				*	*	*	*	
		通年 演習 音楽実技Ⅰ	2	1~				*	*	*	*	
		通年 演習 音楽実技Ⅱ	2	2~				*	*	*		
		通年 演習 音楽実技ⅢA	2	3~								
		通年 演習 音楽実技ⅢB	2	4								
半期 演習 リトミック入門		1	2~			*	*	*				
通年 演習 リトミック応用		2	3~									

(注1) 小学校教育コースは半期、幼児教育・保育コースは通年。

III
児童教育
07~08

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	各種資格関係科目						
				必修	選択			小学教職コース 一小学種校	幼児教育コース 一幼稚園種園	幼児教育・保育コース 一幼稚園種園 保育士	受給資格 士	受給資格 士		
IV 群 専門選択科目	教科・教職関連科目	通年	演習	絵画表現法	2	2~	(74単位)	*	*	*	*			
		半期	演習	造形Ⅱ	1	3~		*	*	*				
		半期	演習	造形教材研究	1	1~		*	*	*				
		半期	講義	幼児教育論	2	2~			*	*				
		半期	講義	比較教育論	2	2~		*	*	*				
		半期	講義	人権教育	2	3~		*	*	*	*			
		半期	講義	特別支援教育概論	2	3~		*	*	*				
	保育・福祉専門科目	半期	講義	社会福祉	2	1~						*	*	
		半期	講義	社会福祉B	2	1~						*	*	
		通年	演習	社会福祉援助技術演習	2	2~						*		
		半期	講義	児童福祉	2	1~						*	*	
		半期	講義	児童福祉B	2	1~						*	*	
		通年	講義	保育原理Ⅰ	4	1~						*		
		半期	講義	保育原理Ⅱ	2	2~						*		
		半期	講義	養護原理	2	2~						*		
		半期	講義	発達心理学	2	2~					*	*	*	
		通年	講義	小児保健	4	1~						*		
		半期+集中	実習	小児保健実習	1	2~						*		
		半期2コマ	演習	小児栄養演習	2	3~						*		
		半期	講義	精神保健学	2	1~						*		
		半期	講義	家庭支援論	2	3~						*		
		半期	演習	保育内容総論	1	2~						*		
		半期	演習	保育内容演習(健康)	1	2~						*		
		半期	演習	保育内容演習(人間関係)	1	2~						*		
		半期	演習	保育内容演習(環境)	1	2~						*		
		半期	演習	保育内容演習(言葉)	1	2~						*		
		半期	演習	保育内容演習(表現①)	1	2~						*		
		半期	演習	保育内容演習(表現②)	1	2~						*		
		半期	演習	保育内容演習(表現③)	1	2~						*		
		通年	演習	乳児保育	2	2~						*		
		半期	演習	障害児保育	1	3~						*		
		半期	演習	養護内容	1	2~						*		
		半期	講義	青年心理学	2	1~						*		
		半期	講義	臨床心理学	2	2~						*	*	
		半期	講義	比較保育論	2	3~						*		
		通年	講義	社会福祉援助技術論Ⅰ	4	1~						*		

III
児童教育
07~08

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校教員コース 幼児教育・保育コース							
				必修	選択			一小学種校	一幼稚園	一幼稚園	保育士	受験資格			
IV群	専門選択科目	保育・福祉専門科目	通年 講義 社会福祉援助技術論Ⅱ		4	2~	(74単位)					*			
			通年 演習 社会福祉援助技術演習Ⅰ		2	2~ (注1)							◆		
			通年 演習 社会福祉援助技術演習Ⅱ		2	3~ (注2)								◆	
			通年 講義 医学一般		4	3~								*	
			通年 講義 社会保障論		4	3~								*	
			半期 講義 公的扶助論		2	2~								*	
			半期 講義 介護概論		2	3~								*	
			通年 講義 障害者福祉論		4	2~								*	
			通年 講義 老人福祉		4	2~								*	
			半期 講義 地域福祉		2	2~								*	
	専門選択科目	関連科目 課題研究	保育・福祉	半期 講義 福祉施設経営論		2		1~							
				半期 講義 ケアマネジメント論		2		3~							
				通年 演習 ゼミナール		4		3~							
				半期 講義 造形文化論		2		1~							*
				半期 講義 おもちゃ論		2		2~							*
				半期 講義 福祉とボランティア		2		1~							
				半期 講義 レクリエーション理論		2		2~							
				半期 演習 レクリエーション実技		1		2~							
				集中 実習 レクリエーション実習(◆レ)		1		3~							
				集中 演習 野外運動A(キャンプ)		2		1~							
専門選択科目	共通科目	学	集中 演習 野外運動B(雪上)		2	1~									
			半期 講義 救急法		2	1~									
			半期 講義 早期英語教育		2	2~									
			半期 演習 e-ラーニング		1	1~									
			半期 演習 教育情報処理		2	1~									
			V群	卒業研究	通年 演習 卒業研究	4		4	4単位	卒必	卒必	卒必	卒必	卒必	
			自由選択		・Ⅱ群の最低修得単位を超え単位数 ・Ⅳ群の最低修得単位を超えた単位数 ・他学部・他専攻科目(指定科目)				25単位						
			卒業所要単位							124単位					

III
児童教育
07~08

(注1) 3年次で履修
(注2) 4年次で履修

◆該当資格希望者のみ履修可能
(◆レ)…レクリエーション・インストラクター

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校教員コース 幼児教育・保育コース				
				必修	選択			一小学種校	一幼稚園	一幼稚園	保育士	受験資格
実習科目 ・ 該当の実習を履修	半期	講義	教育実習の事前事後指導 P		1	2~ (注3)	(注4) 卒業単位に 含めない	◆	◆	◆		
		実習	教育実習Ⅰ		4	3~		◆	◆	◆		
		実習	教育実習Ⅱ		2	3~		◆	◆	◆		
		実習	教育実習Ⅲ		2	3~		※	※	※		
	半期×2	実習	保育実習の事前事後指導		1	2~					◆	
		実習	保育実習Ⅰ		4	2~					◆	
		実習	保育実習Ⅱ		2	3~					◆	
		実習	保育実習Ⅲ		2	3~					◆	
	通年	講義	社会福祉援助技術現場実習指導		4	3~						◆
	実習	社会福祉援助技術現場実習		4	3~					◆		
学校図書館 司書教諭科目	集中	講義	学校経営と学校図書館		2	2~	卒業単位に 含めない	◆				
	集中	講義	学校図書館メディアの構成		2	2~		◆				
	集中	講義	読書と豊かな人間性		2	2~		◆				
	集中	講義	学習指導と学校図書館		2	2~		◆				
	集中	講義	情報メディアの活用		2	2~		◆				
随意科目		海外研修 等				卒業単位に 含めない						

(注3) 3年次で履修

◆該当資格希望者のみ履修可能
※許可された者のみ

(注4) 該当の実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない。

3. 児童教育専攻 卒業と免許・資格別所要単位数

卒業所要単位	124			
免許・資格名	小学校一種免	幼稚園一種免	保育士	社会福祉士受験資格
実習科目(注1)	5	5	7	8
合計単位	129	129	131	132

(注1) 希望する免許・資格等の該当実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

IV スポーツ健康専攻

— 各科目の履修方法について —

教育学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。

これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。

「Ⅱ 教育課程－8. 卒業要件」(参照)

ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

1. スポーツ健康専攻

◆スポーツ健康専攻 卒業所要単位

科目群名	卒業所要単位
I群 外国語必修科目	4単位
II群 外国語・教養選択科目	16単位
III群 専攻必修科目	1単位
IV群 専門選択科目	74単位
V群 卒業研究	4単位
自由選択	25単位
合計	124単位
実習科目	(注1)
学校図書館司書教諭科目	(注2)
随意科目	(注3)

(注1) 当該免許に開設された科目の履修を必要とするが卒業所要単位に含まない。

(注2) 卒業所要単位に含まない。(対象：中学校又は、高等学校免許履修者)

(注3) 卒業所要単位に含まない。

IV
スポーツ
07~08

(1) I群：外国語必修科目

I群：外国語必修科目……計2科目4単位が必修。

(2) II群：外国語・教養選択科目

II群の外国語・教養科目は全て選択科目となり、16単位以上修得すること。

(3) III群：専攻必修科目

III群：専攻必修科目……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は文献資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と討論したり準備が必要となる科目である。①大学の学習システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。担当教員はクラス担任を兼ねるので、4年間継続して学生の学習や個人的な悩み事の相談、進路相談などにも応じている。担任教員の研究室を積極的に訪ね、コミュニケーションを図ること。

(4) IV群：専門選択科目

IV群専門選択科目は「教科専門科目」、「教科関連科目」、「教職専門科目」、「学科共通科目」から構成されている。このうち「教職専門科目」は中学・高校の保健体育科教員免許取得に必要な教職の科目を差し、「学科共通科目」は専攻を問わず、教育学部の学生に履修を進める科目が配置されている。以下には「教科専門科目」、「教科関連科目」について、その意味や履修上の注意点などを説明する。

「教科専門科目」は保健体育やスポーツに関わる基礎科目であり、教員免許を取得する上で必須となる教科の基礎実技や基礎理論を含んでいる。また、「教科関連科目」は「専攻専門科目」と「実践研究」から成り、「教科専門科目」で学ぶ基礎的な実技や理論を土台として、更なる「専門性」を積み上げていくことを目指す科目である。

スポーツ健康専攻における「専門性」の学びは、体育・スポーツ科学全般に関する「幅広い知識」の獲得と、その中から選択される特定領域における「深い専門的知識」や「研究的探求」とに集約される。このどちらも大切なことであり、「幅広い知識」を得ることなく、特定領域を選択し「研究的探求」を進めていくだけでは、真の意味で「専門性」を身につけたとはいえない。

IV群の「専攻選択科目」のうち、「教科専門科目」は体育・スポーツ科学の基礎を成す「幅広い知識」を学ぶものであり、「教科関連科目」は「深い専門的知識」、「研究的探求」の向上を目指すものである。両者のバランスを考え、バラエティに富む科目構成でカリキュラムは構成されている。

「教科関連科目」のうち「専攻専門科目」は学生個々人の興味関心に基づき、履修科目を選択するものである。体育・スポーツ科学の中で「深い専門的知識」の獲得を目指し、自身の専門領域を絞り込むきっかけとしてもらいたい。

また、「実践研究」は、単なる知識（理論）や運動技術の習得にとどまらず、多様な体育・スポーツ現象の現実の実践に目を向ける科目である。中でも「専門演習」は「実践研究」の中核を占める科目であり、「研究的探求」を促進することをねらいとするものである。「専門演習」の内容は、体育・スポーツ科学を構成する個々の専門領域ごとに設定されており、各専門領域の視点から、具体的な体育・スポーツ現象に切り込み、その分析や考察の方法、つまり「研究的探求」の方法を学ぶことをねらいとしている。3年次以降、半期ごとに2つまで最大4つ（前期A1・A2、後期B1・B2）の領域を選択し、4年次の「卒業研究」へつなげるという連続性を持つ重要な科目である。同一教員の開講する「専門演習」は継続して履修することは出来ないが、「深い専門的知識」の前提には「幅広い知識」があることを忘れずに、4つの異なる領域の「専門演習」を履修することを強く推奨する。

(5) V群：卒業研究

「卒業研究」はスポーツ健康専攻における4年次必修の科目であり、卒業論文を作成することを主たるねらいとするものである。

3年次の「専門演習」における学びの中から、自身の最も興味関心のある領域を決定し「卒業研究領域」として選択する。4年次の1年間、選択した領域の指導教員の指導を受けながら、自己の問題意識に基づき研究テーマを設定し、卒業論文の作成に取り組んでいく。具体的には、「研究課題の明確化」、「研究目的の設定」、「研究方法の選択」、「論文としてのまとめ方」など一連の研究遂行に関わる知識や方法を学び、その成果を卒業論文にまとめる。「卒業研究」の履修に際しては、その領域の担当教員の「専門演習」を履修していることを原則とする（3年次に履修した「専門演習」の（最大）4領域の中から「卒業研究」の領域を選択する）。その他、3年次終了時点での総単位数の条件等は特に定めない。

(6) 自由選択

卒業所要単位にあるように、卒業するためにはⅠ群～Ⅴ群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。各必要単位を合計すると99単位となる。卒業要件単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。

この25単位には、①Ⅰ群～Ⅴ群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修（一部の科目）で修得した単位を充てることができる。

①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

- ・この科目は卒業所要単位には含まれない。
- ・教育職員免許状取得のための実習科目のうち卒業所要単位として加算されない科目で、免許状取得希望者は該当科目を修得しないと取得ができなくなるので注意すること。

《スポーツ健康専攻》

科目群	該当免許状
実習科目	中学校教諭一種免許状（保健体育）
	高等学校教諭一種免許状（保健体育）

- ・希望する免許関係科目以外は履修できない。履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「免許および資格取得の手引き（基礎）」を参照のこと。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

教育学部は、他大学、他学部・他専攻（一部の科目）等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択科目として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

オーストラリア（ブリスベン）「グリフィス大学」、アメリカ合衆国（インディアナ）インディアナ大学、台湾（台南）南台科技大學の3つの大学と交換留学を行っている。募集要項を掲示するので、希望者は所定期間内に志願し、手続きをすること。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

(注) 平成20年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板で確認すること。

(9) 学校図書館司書教諭科目

学校図書館司書教諭とは、小学校、中学校及び高等学校において、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校図書館の専門的職務に従事する教諭をいいます。

学校図書館司書教諭は、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導等を行うなど、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担うもので、本学ではこの資格の取得に必要な5科目を開講しています。

1. 受講資格

本学において学校図書館司書教諭講習を受講できる者は次の通りです。

- ・本学において小学校・中学校・高等学校のいずれかの教育職員免許状取得希望の登録をしている2年生以上の者

(平成20年度より受講資格が変更になりました。)

[注] 詳細は学内掲示板に掲示します。

(10) 随意科目

卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。科目が指定され、科目によっては履修対象者が限定されることがある。また、履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

(11) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次配当科目より授業科目を履修できる。各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。

※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する場合があるので、掲示等でよく確認すること。

I群：外国語必修科目 1クラスの人数に制限があるため、学務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II群：外国語・教養選択科目 開講科目の中から、不足単位分を修得する。別科目を選択してもよい。

III群：専攻必修科目 (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。

IV群：専門選択科目・V群：卒業研究

- ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
- ・専門演習や卒業研究の科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 スポーツ健康専攻）

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)	
				必修	選択						
I 群	外国語 必修科目	通年	演習	英語コミュニケーションⅠ	2		4単位	*	*	*	
	通年	演習	英語コミュニケーションⅡ	2		卒必		卒必	卒必		
II 群	外国語 ・ 教養 選択 科目	通年	演習	リーディングⅠ		2	16単位				
		通年	演習	リーディングⅡ		2		2～			
		通年	演習	ライティングⅠ		2		1～			
		通年	演習	ライティングⅡ		2		2～			
		通年	演習	TOEIC		2		2～			
		通2㍷	演習	ドイツ語Ⅰ		4		1～			
		通年	演習	ドイツ語Ⅱ		2		2～			
		通年	演習	ドイツ語Ⅲ		2		2～			
		通年	演習	ドイツ語Ⅳ		2		2～			
		通2㍷	演習	フランス語Ⅰ		4		1～			
		通年	演習	フランス語Ⅱ		2		2～			
		通年	演習	フランス語Ⅲ		2		2～			
		通年	演習	フランス語Ⅳ		2		2～			
		通2㍷	演習	スペイン語Ⅰ		4		1～			
		通年	演習	スペイン語Ⅱ		2		2～			
		通年	演習	スペイン語Ⅲ		2		2～			
		通年	演習	スペイン語Ⅳ		2		2～			
		通2㍷	演習	中国語Ⅰ		4		1～			
		通年	演習	中国語Ⅱ		2		2～			
		通年	演習	中国語Ⅲ		2		2～			
		通年	演習	中国語Ⅳ		2		2～			
		半期	講義	歴史学A		2		1～			
		半期	講義	歴史学B		2		1～			
		半期	講義	日本史概論		2		1～			
		半期	講義	外国史概論		2		1～			
		半期	講義	地理学A		2		1～			
		半期	講義	地理学B		2		1～			
		半期	講義	地理学概論（地誌を含む）		2		1～			
		半期	講義	倫理学A		2		1～			
		半期	講義	倫理学B		2		1～			
		半期	講義	応用倫理		2		1～			
		半期	講義	倫理学概論		2		1～			
半期	講義	哲学A		2	1～						
半期	講義	哲学B		2	1～						

IV
スポーツ
07～08

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)
				必修	選択					
Ⅱ 群	外国語・教養選択科目	半期	講義	哲学概論		2	1~			
		半期	講義	文学A		2	1~			
		半期	講義	文学B		2	1~			
		半2Ⅱ	講義	論理学		4	1~			
		半期	講義	批判的思考		2	1~			
		半期	講義	国語表現法A		2	1~			
		半期	講義	国語表現法B		2	1~			
		半期	講義	美学A		2	1~			
		半期	講義	美学B		2	1~			
		半期	講義	比較文化論A		2	1~			
		半期	講義	比較文化論B		2	1~			
		半期	講義	文化人類学A		2	1~			
		半期	講義	文化人類学B		2	1~			
		半期	講義	社会学A		2	1~			
		半期	講義	社会学B		2	1~			
		半期	講義	法学A		2	1~			
		半期	講義	法学B		2	1~			
		半期	講義	統計学A		2	1~			
		半期	講義	統計学B		2	1~			
		半期	講義	心理学A		2	1~			
		半期	講義	心理学B		2	1~			
		半期	講義	社会心理学A		2	1~			
		半期	講義	社会心理学B		2	1~			
		半期	講義	政治学A		2	1~			
		半期	講義	政治学B		2	1~			
		半期	講義	情報社会科学A		2	1~			
		半期	講義	情報社会科学B		2	1~			
		半期	講義	環境科学A		2	1~			
		半期	講義	環境科学B		2	1~			
		半期	講義	代数学		2	1~			
		半期	講義	解析学		2	1~			
		半期	講義	数学概論		2	1~			
		半期	講義	物理学A		2	1~			
		半期	講義	物理学B		2	1~			
		半期	講義	化学A		2	1~			
		半期	講義	化学B		2	1~			

(16単位)

IV
スポーツ
07~08

*各種資格関係科目

科目区分		開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)	
					必修	選択						
Ⅱ群	外国語・教養選択科目	半期	講義	生物学A		2	1~	(16単位)				
		半期	講義	生物学B		2	1~					
		半期	講義	科学史A		2	1~					
		半期	講義	科学史B		2	1~					
		半期	講義	日本国憲法		2	1~		*	*	*	
		半期	演習	情報処理		2	1~		*	*	*	
Ⅲ群	専攻必修科目	半期	演習	フレッシュマンセミナー	1		1	1単位	卒必	卒必	卒必	
Ⅳ群	専門選択科目	基礎実技	半期	演習	陸上運動Ⅰ		1	1~	74単位	*	*	*
			半期	演習	陸上運動Ⅱ		1	1~		*	*	*
			半期	演習	器械運動Ⅰ		1	1~		*	*	*
			半期	演習	器械運動Ⅱ		1	1~		*	*	*
			半期	演習	ダンスⅠ		1	1~		*	*	*
			半期	演習	ダンスⅡ		1	1~		*	*	*
			半期	演習	バスケットボール		1	1~		*	*	*
			半期	演習	テニス		1	1~		*	*	*
			半期	演習	サッカー		1	1~		*	*	*
			集中	演習	水泳		1	1~		*	*	*
			半期	演習	柔道		1	2~		*	*	*
			半期	演習	剣道		1	2~		*	*	*
			半期	演習	バレーボール		1	2~		*	*	*
			半期	演習	野球(ソフトボール)		1	2~		*	*	*
		半期	演習	ラグビー		1	2~	*		*	*	
		半期	演習	体づくり運動		1	2~	*		*	*	
		基礎理論	半期	講義	体育原理		2	1~		*	*	*
			半期	講義	体育心理学		2	2~		*	*	*
			半期	講義	体育・スポーツ経営学		2	2~		*	*	*
			半期	講義	スポーツ社会学		2	2~		*	*	*
			半期	講義	スポーツ行政論		2	2~		*	*	*
			半期	講義	運動学Ⅰ		2	1~		*	*	*
			半期	講義	運動学Ⅱ		2	1~		*	*	*
			半期	講義	スポーツコーチング総論		2	2~		*	*	*
			半期	講義	生理学		2	1~		*	*	*
			半期	講義	運動生理学		2	2~		*	*	*
			集中	講義	公衆衛生学		2	1~		*	*	*
半期	講義		学校保健Ⅰ		2	1~	*	*	*			
半期	講義		学校保健Ⅱ		2	1~	*	*	*			

Ⅳ
スポーツ
07~08

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)			
				必修	選択								
IV 群	専門 選択 科目	教 科 関 連 科 目	基礎	半期	講義	精神保健学		2	1~		*	*	*
			半期	講義	スポーツ科学入門		2	1~					
			半期	講義	解剖学(基礎)		2	1~					
			半期	講義	競技スポーツ理論		2	1~					
			半期	講義	発育発達学		2	2~					
			半期	講義	トレーニング論Ⅰ		2	2~					
			半期	講義	トレーニング論Ⅱ		2	3~					
			半期	講義	スポーツ指導者論Ⅰ		2	2~					
			半期	講義	スポーツ指導者論Ⅱ		2	3~					
			半期	講義	スポーツ生理学		2	2~		*	*	*	
			半期	講義	スポーツ医学概論		2	2~					
			半期	講義	スポーツ産業論		2	3~					
			半期	講義	スポーツマーケティング		2	3~					
			半期	講義	健康・スポーツの測定と評価		2	3~					
			半期	講義	スポーツリハビリテーション論(テーピングを含む)		2	3~					
			半期	講義	障害者スポーツ		2	3~					
			半期	講義	運動と健康(運動処方論)		2	3~					
			半期	講義	スポーツ栄養学		2	3~					
			半期	講義	スポーツ指導のバイオメカニクス		2	3~					
			半期	演習	トレーニング実習Ⅰ		1	2~					
	半期	演習	トレーニング実習Ⅱ		1	3~							
	半期	演習	ニュースポーツ		1	3~							
	集中	演習	野外運動C(アドバンス)		1	2~							
	実践 研究	半期	講義	体育・スポーツ実践事例研究		2	2~						
		集中	演習	スポーツ科学実験演習		1	2~						
		集中	演習	スポーツインターンシップ		1	2~						
		半期	演習	専門演習A1		1	3~						
		半期	演習	専門演習A2		1	3~						
		半期	演習	専門演習B1		1	3~						
		半期	演習	専門演習B2		1	3~						
	教職 専門 科目	半期	講義	教師論		2	2~		*	*	*		
		半期	講義	教育基礎論		2	1~		◆	◆	◆		
		半期	講義	教育心理学		2	1~		◆	◆	◆		
半期		講義	教育制度論		2	1~		*	*	*			
半期		講義	教育課程論S		2	3~		*	*	*			
半期		講義	保健体育科教育法Ⅰ		2	2~		*	*	*			

(74単位)

◆該当資格希望者のみ履修可能

IV
スポーツ
07~08

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)	
				必修	選択						
IV群 専門選択科目	教職専門科目	半期	講義	保健体育科教育法Ⅱ		2	3~		*	*	*
		半集中	講義	保健体育科教育法Ⅲ (保健)		2	3~		*	*	*
		半期	講義	保健体育科教育法Ⅳ		2	3~		*	*	*
		半期	講義	道德教育の理論と方法S		2	1~		◆	◆	◆
		半期	講義	特別活動の理論と方法S		2	2~		◆	◆	◆
		半期	講義	教育方法論S		2	1~		◆	◆	◆
		半期	講義	生徒指導論 (進路指導を含む)		2	2~		◆	◆	◆
		半期	講義	教育相談S		2	2~		◆	◆	◆
		半期	演習	総合演習		2	2~		◆	◆	◆
		半期	講義	比較教育論		2	2~		*	*	*
	学科 共通科目	半期	講義	人権教育		2	3~		*	*	*
		半期	講義	造形文化論		2	1~				
		半期	講義	おもちゃ論		2	2~				
		半期	講義	福祉とボランティア		2	1~				
		半期	講義	レクリエーション理論		2	2~				
		半期	演習	レクリエーション実技		1	2~				
		集中	実習	レクリエーション実習 (◆レ)		1	3~				
		集中	演習	野外運動A (キャンプ)		2	1~				
		集中	演習	野外運動B (雪上)		2	1~				
		半期	講義	救急法		2	1~				
半期	講義	早期英語教育		2	2~						
半期	演習	e-ラーニング		1	1~						
半期	演習	教育情報処理		2	1~						
V群	卒業研究	通年	演習	卒業研究	4		4	4単位	卒必	卒必	卒必
自由選択		・ II群の最低修得単位を超えた単位数 ・ IV群の最低修得単位を超えた単位数 ・ 他学部・他専攻科目 (指定科目)					25単位				
卒業所要単位							124単位				

◆該当資格希望者のみ履修可能
(◆レ)…レクリエーション・インストラクター

IV
スポーツ
07~08

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)
				必修	選択					
実習科目 ・該当の実習を履修	半期	講義	教育実習の事前事後指導S		1	3～	卒業単位に含めない (注)	◆	◆	◆
	実習	実習	教育実習Ⅰ		4	3～		◆		◆
	実習	実習	教育実習Ⅱ		2	3～			◆	
	実習	実習	教育実習Ⅲ		2	3～		※許可された者のみ		
学校図書館 司書教諭科目	集中	講義	学校経営と学校図書館		2	2～	卒業単位に含めない	◆	◆	◆
	集中	講義	学校図書館メディアの構成		2	2～		◆	◆	◆
	集中	講義	読書と豊かな人間性		2	2～		◆	◆	◆
	集中	講義	学習指導と学校図書館		2	2～		◆	◆	◆
	集中	講義	情報メディアの活用		2	2～		◆	◆	◆
随意科目	海外研修 等					卒業単位に含めない				

◆該当資格希望者のみ履修可能
(注) 教育実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない。

IV
スポーツ
07～08

3. スポーツ健康専攻 卒業・免許別所要単位数

卒業所要単位	124		
免許名	中一種免 (保健体育)	高一種免 (保健体育)	中一種免・高一種免 (保健体育)
実習科目(注1)	5	3	5
合計単位	129	127	129

(注1) 希望する免許に開設された実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

V 英語教育専攻

— 各科目の履修方法について —

教育学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。

これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。
「Ⅱ 教育課程－8. 卒業要件」(参照)

ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

1. 英語教育専攻

◆英語教育専攻 卒業所要単位

科目区分	卒業所要最低単位
I群 外国語必修科目	4単位
II群 外国語・教養選択科目	16単位
III群 専攻必修科目	1単位
IV群 専門選択科目	74単位
V群 卒業研究	4単位
自由選択	25単位
合計	124単位
実習科目	(注1)
学校図書館司書教諭科目	(注2)
随意科目	(注3)

(注1) 該当免許に開設された科目の履修を必要とするが卒業所要単位に含まない。

(注2) 卒業所要単位に含まない。(対象：中学校又は、高等学校免許履修者)

(注3) 卒業所要単位に含まない。

(1) I群：外国語必修科目

I群：外国語必修科目……計2科目4単位が必修。

(2) II群：外国語・教養選択科目

II群の外国語・教養科目は全て選択科目となり、16単位以上修得すること。

(3) III群：専攻必修科目

III群：専攻必修科目……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は文献資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と議論したり準備が必要となる科目である。①大学の学習システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。担当教員はクラス担任を兼ねるので、4年間継続して学生の学習や個人的な悩み事の相談、進路相談などにも応じている。担任教員の研究室を積極的に訪ね、コミュニケーションを図ること。

(4) IV群：専門選択科目

3年次配当科目では、教員になる上で求められる教養や作文力を鍛える場として、「課題研究A,B」(各半期2単位)が選択科目として設けられています。本専攻においては、「課題研究A,B」は「卒業研究」の前提科目ではありません。また「課題研究A,B」の履修者は、他の学生と同様4年次にどの教員のもとでも「卒業研究」を履修することができます。

「海外留学」の単位認定について

英語圏の大学(コミュニティカレッジを含む)のESLコースに留学して単位を取得した場合は、総授業時間に応じて「海外留学」として32単位を上限とする単位を認定する。この場合の成績評価はNとし、単位認定は留学先大学が発行した未開封の成績証明書と、本専攻での演習科目2単位当たりの授業時間(90分×15回)に基づいて行うものとする。

「短期海外研修」の単位認定について

本学主催の二週間以上の海外研修に参加した場合、授業時間と成績評価について研修先が発行する証明書に基づいて、「短期海外研修」を6単位を上限として単位を認定する。この場合の成績評価はNとし、単位認定は研修先からの成績評価資料と、本専攻での演習科目2単位当たりの授業時間(90分×15回)を基準として行うものとする。

二週間に満たない本学主催の海外研修に参加した場合は、「短期海外研修」を2単位を上限として認定する。この場合の成績評価はNとし、単位認定は研修先からの成績評価資料と研修中の授業時間数(50%)、および施設等の見学についてのレポート(50%)によって行うものとする。

(5) V群：卒業研究

英語専攻においては、「卒業研究」(通年4単位)が4年次の必修科目として配当されています。本科目においては、3年次までに培った英語での情報取得能力や英語への学的関心に応じて、担当教員の指導のもと研究ノート、または卒業論文を作成します。研究ノートの内容としては、レポート形式の研究に限らず、教材開発、ソフトウェア、ディベートの活動報告など、多岐の学的活動が含まれます。どのような研究ノートの指導が受けられるかは担当教員によって異なるので、必ず事前に相談して下さい。なお卒業論文作成を希望する人は、3年次までに「アカデミック・ライティング」を履修していることが前提条件となります。

(6) 自由選択

卒業所要単位にあるように、卒業するためにはⅠ群～Ⅴ群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。各必要単位を合計すると99単位となる。卒業要件単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。

この25単位には、①Ⅰ群～Ⅴ群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修で修得した単位を充てることができる。

①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

- ・この科目は卒業所要単位には含まれない。
- ・教育職員免許状取得のための実習科目のうち卒業所要単位として加算されない科目で、免許状取得希望者は該当科目を修得しないと取得ができなくなるので注意すること。

《英語教育専攻》

科目群	該当免許状
実習科目	中学校教諭一種免許状（英語）
	高等学校教諭一種免許状（英語）

- ・希望する免許関係科目以外は履修できない。履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「免許および資格取得の手引き(基礎)」を参照のこと。

V
英語教育
07～08

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

教育学部は、他大学、他学部・他専攻（一部の科目）等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択単位として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

オーストラリア（ブリスベン）「グリフィス大学」、アメリカ合衆国（インディアナ）インディアナ大学、台湾（台南）南台科技大學の3つの大学と交換留学を行っている。募集要項を掲示するので、希望者は所定期間内に志願し、手続きをすること。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

(注) 平成20年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板で確認すること。

(9) 学校図書館司書教諭科目

学校図書館司書教諭とは、小学校、中学校及び高等学校において、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校図書館の専門的職務に従事する教諭をいいます。

学校図書館司書教諭は、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導等を行うなど、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担うもので、本学ではこの資格の取得に必要な科目を開講しています。

1. 受講資格

本学において学校図書館司書教諭講習を受講できる者は次の通りです。

- ・本学において小学校・中学校・高等学校のいずれかの教育職員免許状取得希望の登録をしている2年生以上の者
(平成20年度より受講資格が変更になりました。)

[注] 詳細は学内掲示板に掲示します。

(10) 随意科目

卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。科目が指定され、科目によっては履修対象者が限定されることがある。また、履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

(11) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。
必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次担当科目より授業科目を履修できる。
各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。

※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する場合があるので、掲示等でよく確認すること。

- I 群：外国語必修科目** 1クラスの人数に制限があるため、学務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。
- II 群：外国語・教養選択科目** 開講科目の中から、不足単位分を修得する。別科目を選択してもよい。
- III 群：専攻必修科目** (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。
- IV 群：専門選択科目・V 群：卒業研究**
- ・ 特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
 - ・ 課題研究や卒業研究の科目は、事前に選考を受けなければならない。
- 上記以外の科目** 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 英語教育専攻）

* 各種資格関係科目

科目区分		開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)
					必修	選択					
Ⅰ群	外国語 必修科目	半2㍓	演習	英語スタディースキルズ	2		1	4単位	卒必	卒必	卒必
		通年	演習	オールラブルプレゼンテーション	2		1		*	*	*
Ⅱ群	外国語・ 教養 選択科目	通年	演習	リーディングⅠ		2	1～	16単位			
		通年	演習	リーディングⅡ		2	2～				
		通年	演習	ライティングⅠ		2	1～				
		通年	演習	ライティングⅡ		2	2～				
		通年	演習	TOEIC		2	2～				
		通2㍓	演習	ドイツ語Ⅰ		4	1～				
		通年	演習	ドイツ語Ⅱ		2	2～				
		通年	演習	ドイツ語Ⅲ		2	2～				
		通年	演習	ドイツ語Ⅳ		2	2～				
		通2㍓	演習	フランス語Ⅰ		4	1～				
		通年	演習	フランス語Ⅱ		2	2～				
		通年	演習	フランス語Ⅲ		2	2～				
		通年	演習	フランス語Ⅳ		2	2～				
		通2㍓	演習	スペイン語Ⅰ		4	1～				
		通年	演習	スペイン語Ⅱ		2	2～				
		通年	演習	スペイン語Ⅲ		2	2～				
		通年	演習	スペイン語Ⅳ		2	2～				
		通2㍓	演習	中国語Ⅰ		4	1～				
		通年	演習	中国語Ⅱ		2	2～				
		通年	演習	中国語Ⅲ		2	2～				
		通年	演習	中国語Ⅳ		2	2～				
		半期	講義	歴史学A		2	1～				
		半期	講義	歴史学B		2	1～				
		半期	講義	日本史概論		2	1～				
		半期	講義	外国史概論		2	1～				
		半期	講義	地理学A		2	1～				
		半期	講義	地理学B		2	1～				
		半期	講義	地理学概論（地誌を含む）		2	1～				
		半期	講義	倫理学A		2	1～				
		半期	講義	倫理学B		2	1～				
半期	講義	応用倫理		2	1～						
半期	講義	倫理学概論		2	1～						
半期	講義	哲学A		2	1～						
半期	講義	哲学B		2	1～						

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)
				必修	選択					
Ⅱ 群 外国語・教養 選択科目	半期	講義	哲学概論		2	1~	(16単位)			
	半期	講義	文学A		2	1~				
	半期	講義	文学B		2	1~				
	半2Ⅱ	講義	論理学		4	1~				
	半期	講義	批判的思考		2	1~				
	半期	講義	国語表現法A		2	1~				
	半期	講義	国語表現法B		2	1~				
	半期	講義	美学A		2	1~				
	半期	講義	美学B		2	1~				
	半期	講義	比較文化論A		2	1~				
	半期	講義	比較文化論B		2	1~				
	半期	講義	文化人類学A		2	1~				
	半期	講義	文化人類学B		2	1~				
	半期	講義	社会学A		2	1~				
	半期	講義	社会学B		2	1~				
	半期	講義	法学A		2	1~				
	半期	講義	法学B		2	1~				
	半期	講義	統計学A		2	1~				
	半期	講義	統計学B		2	1~				
	半期	講義	心理学A		2	1~				
	半期	講義	心理学B		2	1~				
	半期	講義	社会心理学A		2	1~				
	半期	講義	社会心理学B		2	1~				
	半期	講義	政治学A		2	1~				
	半期	講義	政治学B		2	1~				
	半期	講義	情報社会科学A		2	1~				
	半期	講義	情報社会科学B		2	1~				
	半期	講義	環境科学A		2	1~				
	半期	講義	環境科学B		2	1~				
	半期	講義	代数学		2	1~				
	半期	講義	解析学		2	1~				
	半期	講義	数学概論		2	1~				
	半期	講義	物理学A		2	1~				
	半期	講義	物理学B		2	1~				
	半期	講義	化学A		2	1~				
	半期	講義	化学B		2	1~				

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)		
				必修	選択							
Ⅱ群	外国語・教養選択科目	半期	講義	生物学A		2	1~	(16単位)				
		半期	講義	生物学B		2	1~					
		半期	講義	科学史A		2	1~					
		半期	講義	科学史B		2	1~					
		半期	講義	日本国憲法		2	1~		*	*	*	
		半期	講義	健康科学		2	1~					
		半期	実技	体育実技A		1	1~		*	*	*	
		半期	実技	体育実技B		1	1~		*	*	*	
		半期	演習	情報処理		2	1~		*	*	*	
Ⅲ群	専攻必修科目	半期	演習	フレッシュマンセミナー	1		1	1単位	卒必	卒必	卒必	
Ⅳ群	専門選択科目	教科専門科目	半期	演習	コミュニケーションⅠA		2	2~	74単位	*	*	*
			半期	演習	コミュニケーションⅠB		2	2~		*	*	*
			半期	演習	コミュニケーションⅡA		2	3~		*	*	*
			半期	演習	コミュニケーションⅡB		2	3~		*	*	*
			半期	演習	リーディング&ボキャブラリーⅠ		2	1~		*	*	*
			半期	演習	リーディング&ボキャブラリーⅡ		2	2~		*	*	*
			半期	演習	リーディング&ボキャブラリーⅢ		2	3~		*	*	*
			半期	演習	ライティング初級		2	1~		*	*	*
			半期	演習	ライティング中級		2	1~		*	*	*
			半期	演習	ライティング上級		2	2~		*	*	*
			半期	演習	アカデミックライティング		2	3~		*	*	*
			半期	講義	英文法Ⅰ		2	1~		*	*	*
			半期	講義	英文法Ⅱ		2	1~		*	*	*
			半期	講義	英文法Ⅲ		2	2~		*	*	*
			半期	講義	英語学概論		2	1~		*	*	*
			半期	演習	音声学演習		2	1~		*	*	*
			半期	講義	音声学		2	1~		*	*	*
			半期	講義	英文学概論		2	1~		*	*	*
			半期	講義	米文学概論		2	1~		*	*	*
			半期	講義	英米文学A		2	2~		*	*	*
			半期	講義	英米文学B		2	2~		*	*	*
			半期	講義	英米文学C		2	3~		*	*	*
			半期	講義	異文化理解		2	1~		*	*	*
半期	講義	異文化間コミュニケーション論		2	2~	*	*	*				
半期	講義	英語圏地域研究		2	2~	*	*	*				

V
英語教育
07~08

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)		
				必修	選択							
IV 群	専門 選択科目	教職 専門科目	半期	講義	教師論		2	2~		*	*	*
			半期	講義	教育基礎論		2	1~		◆	◆	◆
			半期	講義	教育心理学		2	1~		◆	◆	◆
			半期	講義	教育制度論		2	1~		*	*	*
			半期	講義	教育課程論S		2	3~		*	*	*
			半期	講義	英語科教育法Ⅰ		2	1~		*	*	*
			半期	講義	英語科教育法Ⅱ		2	2~		*	*	*
			半期	講義	英語科教育法Ⅲ		2	2~		*	*	*
			半期	講義	英語科教育法Ⅳ		2	3~		*	*	*
			半期	講義	道德教育の理論と方法S		2	1~		◆	◆	◆
			半期	講義	特別活動の理論と方法S		2	2~		◆	◆	◆
			半期	講義	教育方法論S		2	1~		◆	◆	◆
			半期	講義	生徒指導論(進路指導を含む)		2	2~		◆	◆	◆
			半期	講義	教育相談S		2	2~		◆	◆	◆
			半期	演習	総合演習		2	2~		◆	◆	◆
			半期	講義	比較教育論		2	2~		*	*	*
			半期	講義	人権教育		2	3~		*	*	*
		英語教育 関連科目	半期	講義	教材研究		2	2~		*	*	*
			半期	講義	コミュニケーション英語指導法		2	2~		*	*	*
			半期	講義	小学校英語教育		2	2~		*	*	*
			半期	講義	英語コミュニケーション教育特講		2	1~				
			半期	講義	英語で話す日本文化		2	2~		*	*	*
			半期	演習	課題研究A		2	3~				
			半期	演習	課題研究B		2	3~				
		留学 海外	集中	演習・講義	海外留学		1~32	1~	(単位認定)			
			集中	演習・講義	短期海外研修		1~6	1~	(単位認定)			
		ビジネス 関連科目	半期	講義	国際ビジネス英語Ⅰ		2	1~				
			半期	講義	国際ビジネス英語Ⅱ		2	1~				
			半期	講義	時事英語Ⅰ		2	1~				
			半期	講義	時事英語Ⅱ		2	1~				
			半期	講義	ビジネス実務		2	1~				
			半期	講義	貿易商務論Ⅰ		2	1~				
			半期	講義	貿易商務論Ⅱ		2	1~				
共通 科目	半期	講義	造形文化論		2	1~						
	半期	講義	おもちゃ論		2	2~						
	半期	講義	福祉とボランティア		2	1~						

◆該当資格希望者のみ履修可能

* 各種資格関係科目

科目区分			開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)
						必修	選択					
IV群	専門 選択 科目	学 科 共 通 科 目	半期	講義	レクリエーション理論		2	2~	(74単位)			
			半期	演習	レクリエーション実技		1	2~				
			集中	実習	レクリエーション実習 (◆レ)		1	3~				
			集中	演習	野外運動A (キャンプ)		2	1~				
			集中	演習	野外運動B (雪上)		2	1~				
			半期	講義	救急法		2	1~				
			半期	講義	早期英語教育		2	2~				
			半期	演習	e-ラーニング		1	1~				
			半期	演習	教育情報処理		2	1~				
V群	卒業研究	通年	演習	卒業研究	4		4	4単位	卒必	卒必	卒必	
自由選択			・ II群の最低修得単位を超え単位数 ・ IV群の最低修得単位を超えた単位数 ・ 他学部・他専攻科目 (指定科目)					25単位				
卒業所要単位									124単位			

◆該当資格希望者のみ履修可能
(◆レ)…レクリエーション・インストラクター

科目区分			開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)
						必修	選択					
実習科目	半期	講義	教育実習の事前事後指導S		1	3~	卒業単位に含めない (注)	◆	◆	◆		
	実習	実習	教育実習Ⅰ		4	3~		◆		◆		
	実習	実習	教育実習Ⅱ		2	3~			◆			
	実習	実習	教育実習Ⅲ		2	3~		※許可された者のみ				
学校図書館 司書教諭科目	集中	講義	学校経営と学校図書館		2	2~	卒業単位に含めない	◆	◆	◆		
	集中	講義	学校図書館メディアの構成		2	2~		◆	◆	◆		
	集中	講義	読書と豊かな人間性		2	2~		◆	◆	◆		
	集中	講義	学習指導と学校図書館		2	2~		◆	◆	◆		
	集中	講義	情報メディアの活用		2	2~		◆	◆	◆		
随意科目	海外研修 等						卒業単位に含めない					

◆該当資格希望者のみ履修可能
(注) 教育実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない

3. 英語教育専攻 卒業・免許別所要単位数

卒業所要単位	124		
免許名	中一種免 (英 語)	高一種免 (英 語)	中一種免・高一種免 (英 語)
実習科目(注1)	5	3	5
合計単位	129	127	129

(注1) 希望する免許に開設された実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

VI 心理学専攻

— 各科目の履修方法について —

教育学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。

これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。
「Ⅱ 教育課程－8. 卒業要件」(参照)

ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

1. 心理学専攻

◆心理学専攻 卒業所要単位

科目群名	卒業所要単位
I群 外国語必修科目	4単位
II群 外国語・教養選択科目	16単位
III群 専攻必修科目	1単位
IV群 専門選択科目	74単位
V群 卒業研究	4単位
自由選択	25単位
合計	124単位
実習科目	(注1)
学校図書館司書教諭科目	(注2)
随意科目	(注3)

(注1) 当該免許に開設された科目の履修を必要とするが卒業所要単位に含まない。

(注2) 卒業所要単位に含まれない。(対象：中学校又は、高等学校免許履修者)

(注3) 卒業所要単位に含まれない。

(1) I群：外国語必修科目

I群：外国語必修科目……計2科目4単位が必修。

(2) II群：外国語・教養選択科目

II群の外国語・教養科目は全て選択科目となり、16単位以上修得すること。

(3) III群：専攻必修科目

III群：専攻必修科目……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は文献資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と討論したり準備が必要となる科目である。①大学の学習システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。担当教員はクラス担任を兼ねるので、4年間継続して学生の学習や個人的な悩み事の相談、進路相談などにも応じることになっている。担任教員の研究室を積極的に訪ね、コミュニケーションを図ること。

(4) IV群：専門選択科目

- ・専門選択科目は、専攻専門科目、教科専門科目、教職専門科目、学科共通科目から成っている。これらの中から選択し、74単位以上履修すること。
- ・「心理学特別研究 A」「心理学特別研究 B」について
これらは選択科目であるが、実質的には卒業研究の前提となる科目であり、3年次で少なくともいずれかを履修する必要がある。
本研究は、ゼミ形式による集団指導の形式によって行われる。指導教員との密接な人間関係を経験し、それぞれの教員の主たる研究分野の内容について指導を受け、仲間とともに研究を行うことは、後の卒業研究の指導教員を選ぶ際にも、卒業後の進路決定の際にもきわめて重要な経験となるであろう。
なるべく幅広い心理学の研究分野と接する機会を得るために、「心理学特別研究 A」と「同 B」は、別の指導教員を履修することとする。

(5) V群：卒業研究

- ・「卒業研究」は、必修科目である。「心理学特別研究 A」または「同 B」で指導を受けた、いずれかの教員の指導を受けることを原則とする。それぞれの専門分野によって、卒業研究の名に値するテーマを各自で決めて、担当教員の指導の下、卒業論文を作成することが、同研究の中心課題となるが、他にも指導教員ごとに研究指導が行われる。評価は、卒業論文の内容について行うものとし、複数の教員によって評価する。

(6) 自由選択

卒業所要単位にあるように、卒業するためにはⅠ群～Ⅴ群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。各必要単位を合計すると99単位となる。卒業要件単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。この25単位には、①Ⅰ群～Ⅴ群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修（一部の科目）で修得した単位を充てることができる。①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

- ・この科目は卒業所要単位には含まれない。
- ・教育職員免許状取得のための実習科目のうち卒業所要単位として加算されない科目で、免許状取得希望者は該当科目を修得しないと取得ができなくなるので注意すること。

《心理学専攻》

科目群	該当免許状
実習科目	中学校教諭一種免許状（社会）
	高等学校教諭一種免許状（公民）

- ・希望する免許関係科目以外は履修できない。履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「免許および資格取得の手引き(基礎)」を参照のこと。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

教育学部は、他大学、他学部・他専攻（一部の科目）等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択単位として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

オーストラリア（ブリスベン）「グリフィス大学」、アメリカ合衆国（インディアナ）インディアナ大学、台湾（台南）南台科技大學の3つの大学と交換留学を行っている。募集要項を掲示するので、希望者は所定期間内に志願し、手続きをすること。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

(注) 平成20年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示やガイダンス等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板で確認すること。

(9) 学校図書館司書教諭科目

学校図書館司書教諭とは、小学校、中学校及び高等学校において、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校図書館の専門的職務に従事する教諭をいいます。

学校図書館司書教諭は、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導等を行うなど、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担うもので、本学ではこの資格の取得に必要な科目を開講しています。

1. 受講資格

本学において学校図書館司書教諭講習を受講できる者は次の通りです。

- ・本学において小学校・中学校・高等学校のいずれかの教育職員免許状取得希望の登録をしている2年生以上の者
(平成20年度より受講資格が変更になりました。)

[注] 詳細は学内掲示板に掲示します。

(10) 随意科目

卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。科目が指定され、科目によっては履修対象者が限定されることがある。また、履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

(11) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次配当科目より授業科目を履修できる。各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。

※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する場合があるので、掲示や4月のガイダンス等によく確認すること。

I 群：外国語必修科目 1クラスの人数に制限があるため、学務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II 群：外国語・教養選択科目 開講科目の中から、不足単位分を修得する。別科目を選択してもよい。

III 群：専攻必修科目 (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。

IV 群：専門選択科目・V 群：卒業研究

- ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
- ・心理学特別研究や卒業研究の科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 心理学専攻）

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会) 高一種(公民)	認定心理士	
				必修	選択							
Ⅰ群	外国語 必修科目	通年	演習	英語コミュニケーションⅠ	2		4単位	*	*	*	卒必	
		通年	演習	英語コミュニケーションⅡ	2			卒必	卒必	卒必	卒必	
Ⅱ群	外国語 ・ 教養 選択 科目	通年	演習	リーディングⅠ		2	1～					
		通年	演習	リーディングⅡ		2	2～					
		通年	演習	ライティングⅠ		2	1～					
		通年	演習	ライティングⅡ		2	2～					
		通年	演習	TOEIC		2	2～					
		通2㍻	演習	ドイツ語Ⅰ		4	1～					
		通年	演習	ドイツ語Ⅱ		2	2～					
		通年	演習	ドイツ語Ⅲ		2	2～					
		通年	演習	ドイツ語Ⅳ		2	2～					
		通2㍻	演習	フランス語Ⅰ		4	1～					
		通年	演習	フランス語Ⅱ		2	2～					
		通年	演習	フランス語Ⅲ		2	2～					
		通年	演習	フランス語Ⅳ		2	2～					
		通2㍻	演習	スペイン語Ⅰ		4	1～					
		通年	演習	スペイン語Ⅱ		2	2～					
		通年	演習	スペイン語Ⅲ		2	2～					
		通年	演習	スペイン語Ⅳ		2	2～					
		通2㍻	演習	中国語Ⅰ		4	1～					
		通年	演習	中国語Ⅱ		2	2～					
		通年	演習	中国語Ⅲ		2	2～					
		通年	演習	中国語Ⅳ		2	2～					
		半期	講義		歴史学A		2	1～				
		半期	講義		歴史学B		2	1～				
		半期	講義		日本史概論		2	1～	*		*	
		半期	講義		外国史概論		2	1～	*		*	
		半期	講義		地理学A		2	1～				
		半期	講義		地理学B		2	1～				
		半期	講義		地理学概論（地誌を含む）		2	1～	*		*	
		半期	講義		倫理学A		2	1～	*	*	*	
		半期	講義		倫理学B		2	1～	*	*	*	
		半期	講義		応用倫理		2	1～	*	*	*	
		半期	講義		倫理学概論		2	1～	*	*	*	
半期	講義		哲学A		2	1～	*	*	*			
半期	講義		哲学B		2	1～	*	*	*			

Ⅵ
心理学
07～08

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会)高一種(公民)	認定心理士
				必修	選択						
Ⅱ群 外国語・教養選択科目	半期	講義	哲学概論		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	文学A		2	1~					
	半期	講義	文学B		2	1~					
	半2Ⅱ	講義	論理学		4	1~		*	*	*	
	半期	講義	批判的思考		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	国語表現法A		2	1~					
	半期	講義	国語表現法B		2	1~					
	半期	講義	美学A		2	1~					
	半期	講義	美学B		2	1~					
	半期	講義	比較文化論A		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	比較文化論B		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	文化人類学A		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	文化人類学B		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	社会学A		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	社会学B		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	法学A		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	法学B		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	統計学A		2	1~					*
	半期	講義	統計学B		2	1~					*
	半期	講義	心理学A		2	1~			*	*	*
	半期	講義	心理学B		2	1~			*	*	*
	半期	講義	社会心理学A		2	1~			*	*	*
	半期	講義	社会心理学B		2	1~			*	*	*
	半期	講義	政治学A		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	政治学B		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	情報社会科学A		2	1~					
	半期	講義	情報社会科学B		2	1~					
	半期	講義	環境科学A		2	1~					
	半期	講義	環境科学B		2	1~					
	半期	講義	代数学		2	1~					
	半期	講義	解析学		2	1~					
	半期	講義	数学概論		2	1~					
	半期	講義	物理学A		2	1~					
	半期	講義	物理学B		2	1~					
	半期	講義	化学A		2	1~					
	半期	講義	化学B		2	1~					

(16単位)

Ⅵ
心理学
07~08

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一 種 (社会)	高一 種 (公民)	中一 種 (社会) 高一 種 (公民)	認定 心理 士
				必修	選択						
II群 外国語・教養選択科目	半期	講義	生物学A		2	1~	(16単位)				
	半期	講義	生物学B		2	1~					
	半期	講義	科学史A		2	1~					
	半期	講義	科学史B		2	1~					
	半期	講義	日本国憲法		2	1~		*	*	*	
	半期	講義	健康科学		2	1~					
	半期	実技	体育実技A		1	1~		*	*	*	
	半期	実技	体育実技B		1	1~		*	*	*	
	半期	演習	情報処理		2	1~		*	*	*	
III群 専攻必修科目	半期	演習	フレッシュマンセミナー	1		1	1単位	卒必	卒必	卒必	卒必
IV群 専門選択科目	専攻専門科目	半期	講義	基礎心理学A		2	1~				*
		半期	講義	基礎心理学B		2	1~				*
		半期	講義	心理学研究法		2	1~				*
		半期	講義	心理統計法		2	1~				*
		半2コマ	演習	心理学基礎実験演習		4	1~				*
		半2コマ	演習	心理学実験調査法		4	1~				*
		半期	講義	学習心理学		2	1~				*
		半期	講義	認知心理学		2	1~		*	*	*
		半期	講義	発達心理学Ⅰ		2	1~		*	*	*
		半期	講義	発達心理学Ⅱ		2	1~				*
		半期	講義	青年心理学		2	1~		*	*	*
		半期	講義	生理心理学		2	1~				*
		半期	講義	比較心理学		2	1~				*
		半期	講義	人格心理学		2	1~		*	*	*
		半期	講義	臨床心理学		2	1~				*
		半期	講義	健康心理学		2	1~				*
		半期	講義	心身医学		2	1~				*
		集中	講義	障がい児・者心理学		2	1~				*
		半期	講義	医療心理学		2	1~				*
		半期	講義	カウンセリング論		2	1~		*	*	*
		半期	講義	環境心理学Ⅰ		2	1~		*	*	*
		半期	講義	環境心理学Ⅱ		2	1~		*	*	*
		半期	講義	心理測定法		2	3~				*
		半期	演習	臨床心理学検査実習Ⅰ		1	3~				*
		半期	演習	臨床心理学検査実習Ⅱ		1	3~				*
		半期	演習	臨床心理学相談実習Ⅰ		1	3~				*

VI
心理学
07~08

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会)高一種(公民)	認定心理士	
				必修	選択							
IV群 専門選択科目	専攻専門科目	半期	演習	臨床心理学相談実習Ⅱ		1	3~				*	
		半期	講義	脳と心理		2	3~				*	
		半期	講義	人間工学		2	3~				*	
		半期	講義	教育の測定と評価		2	3~				*	
		半期	講義	親子関係の心理		2	3~				*	
		半期	演習	原書講読A		2	3~				*	
		半期	演習	原書講読B		2	3~				*	
		半期	演習	原書講読C		2	3~				*	
		集中	講義	交流分析		2	3~				*	
		半期	講義	精神分析学		2	3~				*	
		半期	講義	臨床心理実務倫理		2	3~				*	
		半期	講義	芸術療法		2	3~				*	
		半期	講義	心理療法論		2	3~				*	
		半期	講義	体育心理学		2	3~				*	
		半期	演習	心理学特別研究A		2	3~				*	
	半期	演習	心理学特別研究B		2	3~				*		
	教科専門科目	半期	講義	国際関係概論		2	1~		*	*	*	
		半期	講義	ミクロ経済学Ⅰ(国際経済を含む)		2	1~		*	*	*	
		半期	講義	マクロ経済学Ⅰ(国際経済を含む)		2	1~		*	*	*	
		半期	講義	マーケティングⅠ		2	1~		*	*	*	
		半期	講義	マーケティングⅡ		2	1~		*	*	*	
	教職専門科目	半期	講義	教師論		2	2~		*	*	*	
		半期	講義	教育基礎論		2	1~		*	*	*	
		半期	講義	教育心理学		2	1~		*	*	*	*
		半期	講義	教育制度論		2	1~		*	*	*	
		半期	講義	教育課程論S		2	3~		*	*	*	
		半期	講義	社会科教育法Ⅰ		2	2~		◆		◆	
		半期	講義	社会科教育法Ⅱ		2	2~		◆		◆	
		半期	講義	社会科教育法Ⅲ		2	2~		◆		◆	
		半期	講義	社会科・公民科教育法		2	2~		◆	◆	◆	
		半期	講義	公民科教育法		2	2~			◆	◆	
		半期	講義	道徳教育の理論と方法S		2	1~		*	*	*	
		半期	講義	特別活動の理論と方法S		2	2~		*	*	*	
半期		講義	教育方法論S		2	1~		◆	◆	◆		
半期	講義	生徒指導論(進路指導を含む)		2	2~		*	*	*			
半期	講義	教育相談S		2	2~		*	*	*	*		
							(74単位)					

◆該当資格希望者のみ履修可能

VI
心理学
07~08

*各種資格関係科目

科目区分			開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会)高一種(公民)	認定心理士	
						必修	選択							
IV群	選択科目	専攻科目	半期	演習	総合演習		2	2~	(74単位)	◆	◆	◆		
			半期	講義	比較教育論		2	2~		*	*	*		
			半期	講義	人権教育		2	3~		*	*	*		
IV群	専門選択科目	学科共通科目	半期	講義	造形文化論		2	1~						
			半期	講義	おもちゃ論		2	2~						
			半期	講義	福祉とボランティア		2	1~						
			半期	講義	レクリエーション理論		2	2~						
			半期	演習	レクリエーション実技		1	2~						
			集中	実習	レクリエーション実習(◆レ)		1	3~						
			集中	演習	野外運動A(キャンプ)		2	1~						
			集中	演習	野外運動B(雪上)		2	1~						
			半期	講義	救急法		2	1~						
			半期	講義	早期英語教育		2	2~						
			半期	演習	e-ラーニング		1	1~						
			半期	演習	教育情報処理		2	1~						
V群	卒業研究	通年	演習	卒業研究	4		4	4単位	卒必	卒必	卒必	*		
自由選択			・II群の最低修得単位を超え単位数 ・IV群の最低修得単位を超えた単位数 ・他学部・他専攻科目(指定科目)					25単位						
卒業所要単位									124単位					

◆該当資格希望者のみ履修可能
(◆レ)レクリエーション・インストラクター

科目区分			開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会)高一種(公民)	認定心理士
						必修	選択						
実習科目	半期	講義	教育実習の事前事後指導S		1	3~	卒業単位に含めない (注)	◆	◆	◆			
	実習	実習	教育実習Ⅰ		4	3~		◆		◆			
	実習	実習	教育実習Ⅱ		2	3~			◆				
	実習	実習	教育実習Ⅲ		2	3~						※許可された者のみ	
学校図書館 司書教諭科目	集中	講義	学校経営と学校図書館		2	2~	卒業単位に含めない	◆	◆	◆			
	集中	講義	学校図書館メディアの構成		2	2~		◆	◆	◆			
	集中	講義	読書と豊かな人間性		2	2~		◆	◆	◆			
	集中	講義	学習指導と学校図書館		2	2~		◆	◆	◆			
	集中	講義	情報メディアの活用		2	2~		◆	◆	◆			
随意科目	海外研修 等						卒業単位に含めない						

◆該当資格希望者のみ履修可能
(注)教育実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない。

3. 心理学専攻 卒業・免許別所要単位数

卒業所要単位	124		
免許名	中一種免 (社会)	高一種免 (公民)	中一種免(社会) 高一種免(公民)
実習科目(注1)	5	3	5
合計単位	129	127	129

(注1) 希望する免許に開設された実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

2008年度

発達科学部 発達科学科
児童教育専攻
スポーツ健康専攻

I 教育目標

II 教育課程

III 児童教育専攻

IV スポーツ健康専攻

V 教育職員免許状
および資格の概要

目 次

I	教育目標	97
	1. 教育目標	
II	教育課程	101
	1. 単位の計算	
	2. 単位の認定・評価	
	3. 授業科目の区分・性格等	
	4. 履修年次	
	5. 年間最高履修登録単位数	
	6. 進級について	
	7. 修業年限および在学年限	
	8. 卒業要件	
III	児童教育専攻	107
	1. 児童教育専攻	
	(1) I群：外国語科目	
	(2) II群：教養科目	
	(3) III群：基本科目	
	(4) IV群：専門科目	
	(5) V群：教育学関係科目	
	(6) 自由選択	
	(7) 実習科目および小学校教職課程科目	
	(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目	
	(9) 随意科目	
	(10) 再履修について	
	2. カリキュラム表（発達科学部 発達科学科 児童教育専攻）	
	3. 児童教育専攻 卒業・資格別所要単位数	

IV スポーツ健康専攻121

1. スポーツ健康専攻

- (1) I群：外国語科目
- (2) II群：教養科目
- (3) III群：基本科目
- (4) IV群：専門科目
- (5) V群：教育学関係科目
- (6) 自由選択
- (7) 実習科目
- (8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目
- (9) 随意科目
- (10) 再履修について

2. カリキュラム表（発達科学部 発達科学科 スポーツ健康専攻）

3. スポーツ健康専攻 卒業・資格別所要単位数

V 教育職員免許状および資格の概要133

1. 教育職員免許状および資格の概要

- (1) 教育職員免許状（一般的には教員免許状）
- (2) 保育士資格
- (3) 社会福祉士受験資格

2. 取得できる教員免許状および資格の種類

3. その他の資格

- (1) 認定心理士
- (2) レクリエーション・インストラクター
- (3) 学校図書館司書教諭

I 教育目標

1. 教育目標

発達科学部は人間の成長、発達にかかる諸課題と、それに深く関わるスポーツ、健康について総合的に学べる履修構成となっている。本学部では次の三点を教育目標としている。

第一は教養と専門知識のバランスを考慮しながら、将来の多様な職業と結びついた、実践的な教育を重点的に行うことである。それにより卒業後にただちにプロフェッショナルとして自立した指導者として活躍できる人材を輩出する。

第二は地域社会に貢献することである。地域にとって有用な情報、人材の発信基地あるいはネットワークの中心としての機能を担うことである。

第三はコミュニケーション能力の高い学生を育てることである。職業人、指導者、また地域の生活者として、他者と強調しながら専門的知識を最大限に伝達できるよう語学力、情報処理能力のみならず、プレゼンテーション能力や対人スキルにも優れたコミュニケーション能力の高い人材の育成を目指している。これらの教育目標を達成するために、人間の誕生から老齢期までの常に発達し続ける人間そのものを対象に複雑かつ多岐にわたる問題を保育、福祉、教育、健康、スポーツといった複眼的視点から分析、検討できる学生を育成する為の履修科目を設定している。また、本学部は教職、資格課程は設置しているが、これは履修する学生諸君全員に対し約束するものではない。この課程を履修する場合、このことを十分理解した上で、履修の各段階、自分自身の将来設計を大切に考えて欲しい。

教職員はこの教育目標達成の為にサポート、アドバイスを惜しまない。

以上

II 教育課程

— 単位制と単位について —

本学における授業科目の履修については、文部科学省の「大学設置基準」に定められた単位制に基づいて行われる。単位制とは、所定の科目を履修することにより、それらの科目ごとに定められている単位を順次取得し、原則として4ヶ年の在学期間のうちに卒業に必要な単位を修得する制度である。

単位制における単位とは、その科目を修得するのに必要な学修時間を示したものであるが、**1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする。**単に授業を受けるだけでなく、教室において行われる学修指導に留意し、授業の準備のための学修時間も重視しながら、自主的に研究を進める必要がある。

こうして単位を集積し、卒業の要件を満たしていくことになる。

従って、卒業の要件を満たしていくうえでの、最も基本的な事項なので、単位制についての正しい理解が要求される。

1. 単位の計算

単位の計算

本学では1コマの授業を90分で行い、これを2時間とし大学設置基準に基づき、本学の学則により次の範囲で単位を計算している。

- ① 講義及び演習については、15時間～30時間までの範囲の授業時間数をもって1単位とする。
- ② 実験・実習及び実技については、30時間～45時間までの範囲の授業時間数をもって1単位とする。

(注)・半期授業回数を15回として計算した場合
・通年授業回数を30回として計算した場合

授業形態別の単位に対する学修時間

授業形態	授業科目の区分	週1回の授業 (1コマ90分)	1単位に対し45時間の学修時間が必要 単位(学修必要時間)	授業回数	週1回の授業に対する 学生の授業時間 外の学修時間
講義科目	基本科目：授業15時間で1単位	半期授業	2単位(90時間)	15回	4時間
		通年授業	4単位(180時間)	30回	
	別に定めた科目：授業30時間で1単位	半期授業	1単位(45時間)	15回	1時間
		通年授業	2単位(90時間)	30回	
演習科目	基本科目：授業30時間で1単位	半期授業	1単位(45時間)	15回	1時間
		通年授業	2単位(90時間)	30回	
	別に定めた科目：授業15時間で1単位	半期授業	2単位(90時間)	15回	4時間
		通年授業	4単位(180時間)	30回	
週2回の科目	通年授業	4単位(180時間)	60回	1時間(週2回で2時間)	
実験・実習 及び実技科目	基本科目：授業45時間で1単位	学外での実習	2単位(90時間)	実習の種類により異なる 仮に1日8時間で計算すると11.3日間	
		学外での実習	4単位(180時間)	実習の種類により異なる 仮に1日8時間で計算すると22.5日間	
	別に定めた科目：授業30時間で1単位	半期授業	1単位(45時間)	15回	1時間
		通年授業	2単位(90時間)	30回	

(授業形態や授業内容、授業開講期間等によって単位数が異なる。)

2. 単位の認定・評価

単位の認定

単位の認定は、原則として出席状況及び定期試験の結果によるが、授業時間中の筆記試験・レポートの提出・平素の学修状況等も含めて、判定する授業科目もある。

成績の評価

学業成績の評価は、次のようになる。

判定	合 格					不 合 格	失 格
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	再試験合格	59点以下	欠席多 試験・レポート等放棄
	S	A	B	C1	C2	D	H

3. 授業科目の区分・性格等

授業科目の区分

児童教育専攻	
I群 - A	外国語科目（必修）
I群 - B	外国語科目（選択）
II群	教養科目
III群 - A	基本科目（必修）
III群 - B	基本科目（選択必修）
IV群	専門科目
V群	教育学関係科目

* 卒業所要単位には含まれない科目

実習科目*
小学校教職課程科目*
随意科目*

スポーツ健康専攻	
I群 - A	外国語科目（必修）
I群 - B	外国語科目（選択）
II群	教養科目
III群 - A	基本科目（必修）
III群 - B	基本科目（選択必修）
IV群	専門科目
V群	教育学関係科目

* 卒業所要単位には含まれない科目

実習科目*
随意科目*

科目区分の性格

授業科目の性格は、次のように区分される。

- (1) 必修科目：必ず履修しなければならない科目
- (2) 選択必修科目：定められた一定の範囲の中から、必要な単位数や科目数だけ必ず履修しなければならない科目
- (3) 選択科目：履修するかどうかを自由に選択できる科目
- (4) 実習科目：卒業所要単位には含まれないが、各種資格取得のために必要な実習科目
- (5) 小学校教職課程科目：卒業所要単位には含まれないが、小学校教職免許状取得者に必要な科目
- (6) 随意科目：卒業所要単位数には含まれない科目

Semester制

1年間を複数学期に分割し、授業科目を学期（Semester）毎に完結する授業形態をいう。各学期が15週程度の2学期制（前期・後期）の伝統的なSemester制や、3学期制・4学期制等のSemester制もある。定期試験や成績発表は学期ごとに行われる。

開講期間等

半期科目…前期又は後期で授業を開講する。
 通年科目…1年間を通して授業を開講する。
 集中講義…1日に数コマ集中して授業を行ったり、宿泊等で開講する。

4. 履修年次

- 履修年次** 授業科目により、履修できる年次が決められている。これらの科目については、上級年次の学生が下級年次の授業科目を履修することはできるが、下級年次の学生が上級年次の授業科目を履修することはできない。
- 科目の性質によりステップを踏んで履修した方が学修効果上がるものがあるため、『履修要綱』を参照し、学修手順に十分配慮して履修することが望ましい。

5. 年間最高履修登録単位数

年間最高履修登録単位数

年間最高履修登録単位数とは、1年間に科目の履修登録ができる単位の上限を示す。すなわち、各年次において1年間に表記の単位を超えて履修登録はできない。よって、卒業までの4年間において、計画的な履修登録が望まれる。但し、実習科目、児童教育専攻の小学校教職課程科目、及び随意科目の履修単位は含まれない。

発 達 科 学 科				
1年次	2年次	3年次	4年次	合 計
43単位	40単位	40単位	40単位	163単位

6. 進級について

- 進級要件** 進級要件は特に定めない。従って、休学等の場合を除き、4年次まで進級する。4年間で卒業の要件の単位を充足できない場合は、4年次に留まることになる。

7. 修業年限および在学年限

- 修業年限** 修業年限は4年とする。
- 在学年限** 在学年限は、特別な場合を除き8年とする。〔『学則』参照のこと。〕

8. 卒業要件

卒業認定 4年間以上在学し、学納金を完納し、次の科目区分の群ごとの卒業所要単位数を充足した者は、教授会の議を経て、学長より卒業の認定を受ける。卒業の認定を受けた者には、卒業証書が授与されるとともに、「学士（発達科学）」の学位が与えられる。

科目区分		児童教育専攻	スポーツ健康専攻
卒業 所要 単位	I群-A	外国語科目（必修）	4単位
	I群-B	外国語科目（選択）	4単位
	II群	教養科目	12単位
	III群-A	基本科目（必修）	1単位
	III群-B	基本科目（選択必修）	10単位
	IV群	専門科目	72単位
	V群	教育学関係科目	72単位
自由選択		25単位	25単位
合計		124単位	124単位
実習科目		(注1)	(注1)
小学校教職課程科目		(注2)	
随意科目		(注3)	(注3)

(注1) 希望する免許・資格等の該当実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

(注2) 小学校教職免許状希望者のみ履修可。卒業所要単位には含まれない。

(注3) 全学部共通随意科目・指定科目（該当者のみ）。卒業所要単位には含まれない。

★注意：卒業する時まで入学時のカリキュラム（教育課程）が適用されるため、該当入学年度のカリキュラム・時間割等の資料を参照すること。

Ⅲ 児童教育専攻

— 各科目の履修方法について —

発達科学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。

これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。

「Ⅱ 教育課程－8. 卒業要件」(参照)

ここでは、授業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で表示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

1. 児童教育専攻

児童教育専攻 卒業所要単位

科目区分		卒業所要最低単位		
I群-A	外国語科目（必修）	4単位	25単位	
I群-B	外国語科目（選択）	12単位		
II群	教養科目			
III群-A	基本科目（必修）	1単位		
III群-B	基本科目（選択必修）	10単位		
IV群	専門科目	72単位		
V群	教育学関係科目			
自由選択		25単位		
合計		124単位		
実習科目		(注1)		
小学校教職課程科目		(注2)		
随意科目		(注3)		

(注1) 希望する免許・資格等の該当実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

(注2) 小学校教職免許状希望者のみ履修可。卒業所要単位には含まれない。

(注3) 全学部共通随意科目・指定科目（該当者のみ）。卒業所要単位には含まれない。

(1) I群：外国語科目

I群の外国語科目は「I群-A」と「I群-B」の2つに分類される。

I群-A：外国語科目（必修）……英会話科目。計2科目4単位が必修。

I群-B：外国語科目（選択）……英語及び英語以外の第二外国語科目の開設群で全て選択科目となるが、「II群」と合わせて12単位以上修得すること。

(2) II群：教養科目

II群の教養科目は全て選択科目となるが、「I群-B」と合わせて12単位以上修得すること。

(3) III群：基本科目

III群の基本科目は「III群－A」と「III群－B」の2つに分類される。

III群－A：基本科目（必修）……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は文献資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と討論したり準備が必要となる科目である。①大学の学習システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。担当教員はクラス担任を兼ねるので、4年間継続して学生の学習や個人的な悩み事の相談、進路相談などにも応じている。担任教員の研究室を積極的に訪ね、コミュニケーションを図ること。

III群－B：基本科目（選択必修）……専門の基本となる科目。8科目の中から選択し、10単位以上修得すること。

(4) IV群：専門科目

IV群の専門科目及びV群の教育学関係科目より選択し、72単位以上修得すること。

「課題研究A」「課題研究B」および「卒業研究」について

課題研究・卒業研究ともに選択科目であるが、ゼミ形式による指導教員との緊密な人間関係を構築することは、学問上の指導のみでなく、人としての生き方を学ぶ点においても、学生にとって得るところが多い。また、卒業後の進路決定にも指導教員が積極的に関われる点で履修を勧める。

しかし指導できる学生の人数には限りがあるため、選考の際は、条件を設け履修者を決定する。後期に実施される説明会で選考方法や指導内容および履修形態等の詳細な説明を行う。

・「課題研究A」「課題研究B」科目

4年次の卒業研究の前提となる科目である。A・B両科目あるいは、どちらかの一方を選択することも可能である。また、同じ教員のA・Bを継続受講する場合と、A・Bをそれぞれ異なる教員で受講する分割履修の場合があるが、科目の性質上、3年次にA・Bとも同じ教員の継続履修が望ましい。

履修にあたっては、2年次までに62単位以上修得していることを条件とし、担当教員が面接やレポートなどにより独自に選考を行う。

・「卒業研究」科目

卒業研究履修時には、課題研究A・Bとも修得済みであることを条件とする。したがって課題研究と卒業研究を4年次に同時履修することは原則として認めない。また課題研究での研究内容が前提となっているため、原則として課題研究と同一教員による指導であることが望ましい。

それぞれの専門分野によって、卒業研究の名に値するテーマを各自で決めて、担当教員の指導のもと、卒業論文の作成が中心となる。またその研究成果を複数の教員によって評価する。

(5) V 群：教育学関係科目

IV群の専門科目及びV群の教育学関係科目より選択し、72単位以上修得すること。

(6) 自由選択

卒業所要単位にあるように、卒業するためにはI群～V群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。I群～V群の各必要単位を合計すると99単位となるが、卒業の要件の単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。

この25単位には、①I群～V群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修で修得した単位を充てることができる。

①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目および小学校教職課程科目

- ・この科目は卒業所要単位には含まれない。
- ・教育職員免許状や各種資格取得のための実習及び、それらに係わる科目のうち卒業所要単位として加算されない科目である。免許や資格取得希望者は該当科目を修得しないと取得ができなくなるので注意すること。

《児童教育専攻》

科目群	該当免許・資格種類
実習科目	小学校教諭一種免許状
	幼稚園教諭一種免許状
	保育士
	社会福祉士受験資格
小学校教職課程科目	小学校教諭一種免許状

- ・希望する資格関係科目以外は履修できない。履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「教育職員免許状および資格取得の手引き」を参照のこと。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

発達科学部は、他大学、他学部・他専攻等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択科目として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

オーストラリア（ブリスベン）にある「グリフィス大学」、アメリカ合衆国（インディアナ州）インディアナ大学及び台湾（台南）南台科技大學と交換留学を行っている。募集要項を掲示するので、希望者は所定期間内に志願し、手続きをすること。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

（注）平成20年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板を確認すること。

(9) 随意科目

卒業所要単位として算入されない科目。

講義内容に興味・関心がある場合は、年間最高履修登録単位数に含まれない科目として登録・履修することができる。

履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

平成20年度 開講科目

科 目	単位	年次	担 当 者	摘 要
海 外 研 修	2	1～	(後日掲示する)	
指定科目（該当者のみ）				別途指示する

(10) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。
必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次配当科目より授業科目を履修できる。
各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。
※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する
場合があるので、掲示や4月のガイダンス等によく確認すること。

I群：外国語科目 1クラスの人数に制限があるため、学務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II群：教養科目 開講科目の中から、不足単位分を履修する。別科目を選択してもよい。

III群：基本科目 (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。
(選択必修) 特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
同科目群内の選択必修科目であれば、別科目に変更してもよい。

IV群：専門科目 ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
・課題研究、卒業研究関係科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表 (発達科学部 発達科学科 児童教育専攻)

*各種資格関係科目

科目区分		開講	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校一種	幼稚園一種	保育士	受験資格士			
				必修	選択									
I群-A	外国語科目 (必修)	通年	英会話Ⅰ	2		1	4単位	*	*	*	卒必			
		通年	英会話Ⅱ	2		2		*	*	*	卒必			
I群-B	外国語科目 (選択)	通年	英会話Ⅲ		2	2・3・4	I群-B 及び II群より 12単位							
		通年	英会話Ⅳ		2	1・2・3・4								
		通年	英会話Ⅴ		4	1・2・3・4								
		通年	英会話Ⅵ		4	1・2・3・4								
		通年	英会話Ⅶ		4	1・2・3・4								
		通年	英会話Ⅷ		4	2・3・4								
		通年	ドイツ語Ⅰ		4	1・2・3・4								
		通年	ドイツ語Ⅱ		4	2・3・4								
		通年	ドイツ語Ⅲ		4	2・3・4								
		通年	ドイツ語Ⅳ		4	2・3・4								
		通年	フランス語Ⅰ		4	1・2・3・4								
		通年	フランス語Ⅱ		4	2・3・4								
		通年	フランス語Ⅲ		4	2・3・4								
		通年	フランス語Ⅳ		4	2・3・4								
		通年	スペイン語Ⅰ		4	1・2・3・4								
		通年	スペイン語Ⅱ		4	2・3・4								
		通年	スペイン語Ⅲ		4	2・3・4								
		通年	スペイン語Ⅳ		4	2・3・4								
		II群	教養科目	通年	中国語Ⅰ			4	1・2・3・4					
				通年	中国語Ⅱ			4	2・3・4					
通年	中国語Ⅲ				4	2・3・4								
通年	中国語Ⅳ				4	2・3・4								
半期	コリア語				2	2・3・4								
半期	歴史学A				2	1・2・3・4								
半期	歴史学B				2	1・2・3・4								
半期	地理学A				2	1・2・3・4								
半期	地理学B				2	1・2・3・4								
半期	倫理学A				2	1・2・3・4								
半期	倫理学B				2	1・2・3・4								
半期	哲学A				2	1・2・3・4								
半期	哲学B				2	1・2・3・4								
半期	文学A				2	1・2・3・4								
半期	文学B		2	1・2・3・4										
半期	美学A		2	1・2・3・4										

* 各種資格関係科目

科目区分	開講	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校 一種	幼稚園 一種	保育士	受検 資格士
			必修	選択						
Ⅱ群	教養科目	半期 美学B		2	1・2・3・4	Ⅰ群-B 及び Ⅱ群より 12単位				
		半期 社会学A		2	1・2・3・4					
		半期 社会学B		2	1・2・3・4					
		半期 法学A		2	1・2・3・4					*
		半期 法学B		2	1・2・3・4					*
		半期 統計学A		2	1・2・3・4					
		半期 統計学B		2	1・2・3・4					
		半期 心理学A		2	1・2・3・4					
		半期 心理学B		2	1・2・3・4					
		半期 社会心理学A		2	1・2・3・4					
		半期 社会心理学B		2	1・2・3・4					
		半期 環境科学A		2	1・2・3・4					
		半期 環境科学B		2	1・2・3・4					
		通年 数学A		4	1・2・3・4					
		通年 数学B		4	1・2・3・4					
		半期 物理学A		2	1・2・3・4					
		半期 物理学B		2	1・2・3・4					
半期 生物学A		2	1・2・3・4							
半期 生物学B		2	1・2・3・4							
Ⅱ群-A	基本科目 (必修)	半期 フレッシュマンセミナー	1		1	1単位	卒必	卒必	卒必	卒必
Ⅱ群-B	基本科目 (選択必修)	半期 教育総論		2	1・2・3・4	10単位			*	
		半期 教育原理		2	1・2・3・4		*	*	*	
		半期 教育課程論		2	3・4		*	*	*	
		半期 教育制度論		2	1・2・3・4		*	*		
		半期 比較教育論		2	2・3・4		*	*		
		半期 教育哲学		2	2・3・4					
		半期 教育心理学概論		2	1・2・3・4		*	*	*	
		通年 コンピュータ実習		2	1・2・3・4		*	*	*	
Ⅳ群	専門科目 (児童教育専攻主科目) 保育内容	半期 保育内容研究 (健康)		2	3・4		*			
		半期 保育内容研究 (人間関係)		2	2・3・4		*			
		半期 保育内容研究 (環境)		2	3・4		*			
		半期 保育内容研究 (言葉)		2	3・4		*			
		半期 保育内容研究 (音楽表現)		2	3・4		*			
		半期 保育内容研究 (美術表現)		2	3・4		*			
		半期 保育内容研究 (身体表現)		2	2・3・4		*			
		半期 保育内容演習 (健康)		1	3・4		*	*		

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校 一種	幼稚園 一種	保育士	受験資格 士	社会福祉 士		
			必修	選択									
IV群 専門科目(児童教育専攻主科目)	保育内容	半期	保育内容演習(人間関係)	1	2・3・4	IV群及び V群より 72単位		*	*				
		半期	保育内容演習(環境)	1	3・4			*	*				
		半期	保育内容演習(言葉)	1	3・4			*	*				
		半期	保育内容演習(音楽表現)	1	3・4			*	*				
		半期	保育内容演習(美術表現)	1	3・4			*	*				
		半期	保育内容演習(身体表現)	1	2・3・4			*	*				
	技能関連	通年	ソルフェージュ	2	1・2・3・4			*	*	*			
		通年	歌唱表現	2	2・3・4								
		通年	音楽実技Ⅰ(基礎)	2	1・2・3・4			*	*	*			
		通年	音楽実技Ⅱ(こどもの音楽)	2	2・3・4								
		通年	音楽実技ⅢA(応用)	2	3・4								
		通年	音楽実技ⅢB(応用)	2	4								
		半期	リトミック入門	1	2・3・4			*	*				
		通年	リトミック応用	2	3・4								
		通年	造形	2	1・2・3・4			*	*	*			
		通年	絵画表現法	2	2・3・4			*	*	*			
		半期	造形教材研究	1	1・2・3・4								
		半期	基礎デザイン	2	1・2・3・4								
		通年	スポーツと健康	2	1・2・3・4			*	*	*			
		通年	子どもの体育	2	2・3・4			*	*	*			
		福祉	半期	社会福祉	2		1・2・3・4				*	*	
			半期	社会福祉B	2		1・2・3・4				*	*	
			半期	児童福祉	2		1・2・3・4				*	*	
	半期		児童福祉B	2	1・2・3・4					*	*		
	通年		社会福祉援助技術論Ⅰ	4	1・2・3・4						*		
	通年		社会福祉援助技術論Ⅱ	4	2・3・4						*		
	半期		社会福祉援助技術演習	2	2・3・4					*			
	通年		社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	1・2・③・4						◆		
	通年		社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	2・3・④						◆		
	通年		保育原理Ⅰ	4	1・2・3・4					*			
	半期		保育原理Ⅱ	2	2・3・4					*			
	半期		養護原理	2	2・3・4					*			
	半期		養護内容	1	2・3・4					*			
半期	乳児保育	2	2・3・4				*						
半期	障害児保育	1	3・4				*						
半期	家庭支援論	2	3・4				*						

○の年次で履修 ◆該当資格希望者のみ履修可能

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校一種	幼稚園一種	保育士	受験資格士	
			必修	選択							
IV群	福祉	通年	医学一般		4	3・4				*	
		通年	小児保健		4	1・2・3・4			*		
		半期	小児保健実習		1	2・3・4			*		
		半期	小児栄養演習		2	3・4			*		
		半期	比較保育論		2	3・4					
		通年	社会保障論		4	3・4				*	
		半期	公的扶助論		2	2・3・4				*	
		半期	介護概論		2	3・4				*	
		通年	障害者福祉論		4	2・3・4				*	
		通年	老人福祉		4	2・3・4				*	
		半期	地域福祉		2	2・3・4				*	
		半期	福祉施設経営論		2	1・2・3・4					
		半期	ケアマネジメント論		2	3・4					
		半期	福祉デザイン		2	1・2・3・4					
		半期	福祉計画論		2	2・3・4					
	心理	半期	発達心理学		2	2・3・4		*	*	*	*
		半期	青年心理学		2	1・2・3・4			*		
		通年	環境心理学		4	1・2・3・4					
		半期	認知心理学		2	1・2・3・4					
		半期	臨床心理学		2	2・3・4			*	*	
		半期	精神保健学		2	1・2・3・4			*		
		半期	親子関係の心理		2	1・2・3・4					
		通年	心理学基礎実験		2	1・2・3・4					
		半期	心理測定法		2	1・2・3・4					
		半期	心理学研究法		2	1・2・3・4					
	教科教育	通年	心理学実験調査法		2	1・2・3・4					
		半期	教育の測定と評価		2	3・4					
		半期	国語概説		2	2・3・4		*	*		
		半期	社会科概説		2	2・3・4		*			
		半期	算数概説		2	2・3・4		*	*		
		半期	理科概説		2	2・3・4		*			
		半期	生活科概説		2	2・3・4		*	*		
		半期	家庭科概説		2	2・3・4		*			
半期		国語科教育法		2	3・4		*				
	半期	社会科教育法		2	3・4		*				
	半期	算数科教育法		2	3・4		*				

IV群及び
V群より
72単位

*各種資格関係科目

科目区分	開講	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校一種	幼稚園一種	保育士	受験資格士
			必修	選択						
IV群	教科教育	半期	理科教育法		2	3・4		*		
		半期	生活科教育法		2	3・4		*		
		半期	音楽科教育法		2	3・4		*		
		半期	図画工作科教育法		2	3・4		*		
		半期	家庭科教育法		2	3・4		*		
		半期	体育科教育法		2	3・4		*		
	関連科目	半期	美術史		2	1・2・3・4				
		半期	造形文化論		2	1・2・3・4				
		半期	英語であそぼう		2	3・4				
		半期	児童文学		2	1・2・3・4		*	*	
		半期	おもちゃ論		2	2・3・4				
		集中	野外運動A		2	1・2・3・4				
		集中	野外運動B		2	1・2・3・4				
		集中	救急法		2	1・2・3・4				
		半期	レクリエーション実技		1	2・3・4				
		集中	レクリエーション実習(◆レ)		1	2・③・④				
		半期	課題研究A		2	3・4				
		半期	課題研究B		2	3・4				
		通年	卒業研究		8	4				
V群	教育学関係科目	半期	教師論		2	2・3・4		*	*	
		半期	幼児教育論		2	2・3・4			*	
		半期	道德教育の研究		2	2・3・4		◆	◆	
		半期	特別活動の研究		2	2・3・4		◆		
		半期	教育方法論Ⅰ		2	2・3・4		*	*	*
		半期	教育方法論Ⅱ		2	2・3・4		*	*	
		半期	生徒指導論		2	2・3・4		◆	◆	
		半期	教育相談		2	2・3・4		◆	◆	
		通年	総合演習		2	2・3・4		◆	◆	◆
		半期	日本国憲法		2	1・2・3・4		*	*	*
自由選択		I群～V群科目及び他専攻、他学部科目				25単位	/			
卒業所要単位						124単位				

○の年次で履修 ◆該当資格希望者のみ履修可能
(◆レ) …レクリエーション・インストラクター

科目区分	開講	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校 一種	幼稚園 一種	保育 士	社会福祉 士
			必修	選択						
実習科目 ・該当の実習を履修	半期	教育実習の事前事後指導（幼稚園）		1	3～4] (注)		◆		
	実習	教育実習（幼稚園）		4	3～4			◆		
	半期	教育実習の事前事後指導（小学校）		1	3～4] (注)	◆			
	実習	教育実習（小学校）		4	4		◆			
	半期	保育実習の事前事後指導		1	2～4] (注)			◆	
	実習	保育実習Ⅰ		4	2～4				◆	
	実習	保育実習Ⅱ		2	3～4				◆	
	実習	保育実習Ⅲ		2	3～4				◆	
	通年	社会福祉援助技術現場実習指導		4	3～4] (注)				◆
実習	社会福祉援助技術現場実習		4	③～4					◆	
小学校 教職課程科目 ・小学校教職免許希望者のみ履修可	半期	初等国語		2	3・4	・卒業単位に含めない	◆			
	半期	初等社会科		2	3・4		◆			
	半期	初等算数		2	3・4		◆			
	半期	初等理科		2	3・4		◆			
	半期	初等生活科		2	3・4		◆			
	半期	初等家庭科		2	3・4		◆			
	半期	初等教材研究A（言語・文化系）		2	4		◆			
	半期	初等教材研究B（生活・人間系）		2	4		◆			
半期	初等教材研究C（表現・実技系）		2	4	◆					
随意科目	集中	学校経営と学校図書館		2	2・3・4	・卒業単位に含めない	◆			
	集中	学校図書館メディアの構成		2	2・3・4		◆			
	集中	読書と豊かな人間性		2	2・3・4		◆			
	集中	学習指導と学校図書		2	2・3・4		◆			
	集中	情報メディアの活用		2	2・3・4		◆			
		海外研修等 指定科目（該当者のみ）								

○の年次で履修

◆該当資格希望者のみ履修可能

(注) 該当の実習の事前事後指導と実習が完了しないと単位は付与されない。

3. 児童教育専攻 卒業・資格別所要単位数

科目区分		卒業	小学校一種	幼稚園一種	保育士	社会福祉士 受験資格
I群-A	外国語科目(必修)	4	4	4	4	4
I群-B	外国語科目(選択)	12	12	12	12	12
II群	教養科目					
III群-A	基本科目(必修)	1	1	1	1	1
III群-B	基本科目(選択必修)	10	10	10	10	10
IV群	専門科目					
V群	教育学関係科目	72	72	72	72	72
自由選択		25	25	25	25	25
卒業合計単位		124	124	124	124	124
実習科目(注1)			5	5	7	8
小学校教職課程科目(注2)			4			
随意科目(注3)						
各種資格別所要合計単位			133	129	131	132

(注1) 希望する免許・資格等の該当実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

(注2) 小学校教職免許状希望者のみ履修可。卒業所要単位には含まれない。

(注3) 全学部共通随意科目・指定科目(該当者のみ)。卒業所要単位には含まれない。

IV スポーツ健康専攻

— 各科目の履修方法について —

発達科学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。

これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。

「Ⅱ 教育課程－8. 卒業要件」(参照)

ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

1. スポーツ健康専攻

スポーツ健康専攻 卒業所要単位

科目区分		卒業所要最低単位		
I群-A	外国語科目(必修)	4単位	72単位	
I群-B	外国語科目(選択)	12単位		
II群	教養科目			
III群-A	基本科目(必修)	1単位		
III群-B	基本科目(選択必修)	10単位		
IV群	専門科目	72単位		
V群	教育学関係科目			
自由選択		25単位		
合計		124単位		
実習科目		(注1)		
随意科目		(注2)		

(注1) 希望する免許に開設された科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

(注2) 全学部共通随意科目・指定科目(該当者のみ)。卒業所要単位には含まれない。

(1) I群：外国語科目

I群の外国語科目は「I群-A」と「I群-B」の2つに分類される。

I群-A：外国語科目(必修)……英会話科目。計2科目4単位が必修。

I群-B：外国語科目(選択)……英語及び英語以外の第二外国語科目の開設群で全て選択科目となるが、「II群」と合わせて12単位以上修得すること。

(2) II群：教養科目

II群の教養科目は全て選択科目となるが、「I群-B」と合わせて12単位以上修得すること。

(3) III群：基本科目

III群の基本科目は「III群－A」と「III群－B」の2つに分類される。

III群－A：基本科目（必修）……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は文献資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と討論したり準備が必要となる科目である。①大学の学習システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。担当教員はクラス担任を兼ねるので、4年間継続して学生の学習や個人的な悩み事の相談、進路相談などにも応じている。担任教員の研究室を積極的に訪ね、コミュニケーションを図ること。

III群－B：基本科目（選択必修）……専門の基本となる科目。8科目の中から選択し、10単位以上修得すること。

(4) IV群：専門科目

IV群の専門科目及びV群の教育学関係科目より選択し、72単位以上修得すること。

「課題研究A」「課題研究B」および「卒業研究」について

課題研究・卒業研究ともに選択科目であるが、ゼミ形式による指導教員との緊密な人間関係を構築することは、学問上の指導のみでなく、人としての生き方を学ぶ点においても、学生にとって得るところが多い。また、卒業後の進路決定にも指導教員が積極的に関わる点で履修を勧める。

しかし指導できる学生の人数には限りがあるため、選考の際は、条件を設け履修者を決定する。後期に実施される説明会で選考方法や指導内容および履修形態等の詳細な説明を行う。

・「課題研究A」「課題研究B」科目

4年次の卒業研究の前提となる科目である。A・B両科目あるいは、どちらかの一方を選択することも可能である。また、同じ教員のA・Bを継続受講する場合と、A・Bをそれぞれ異なる教員で受講する分割履修の場合があるが、科目の性質上、3年次にA・Bとも同じ教員の継続履修が望ましい。

履修にあたっては、2年次までに62単位以上修得していることを条件とし、担当教員が面接やレポートなどにより独自に選考を行う。

・「卒業研究」科目

卒業研究履修時には、課題研究A・Bとも修得済みであることを条件とする。したがって課題研究と卒業研究を4年次に同時履修することは原則として認めない。また課題研究での研究内容が前提となっているため、原則として課題研究と同一教員による指導であることが望ましい。

それぞれの専門分野によって、卒業研究の名に値するテーマを各自で決めて、担当教員の指導のもと、卒業論文の作成が中心となる。またその研究成果を複数の教員によって評価する。

(5) V群：教育学関係科目

IV群の専門科目及びV群の教育学関係科目より選択し、72単位以上修得すること。

(6) 自由選択

卒業所要単位にあるように、卒業するためにはI群～V群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。I群～V群の各必要単位を合計すると99単位となるが、卒業要件単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。この25単位には、①I群～V群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修で修得した単位を充てることができる。

①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

- ・この科目は卒業所要単位には含まれない。
- ・教育職員免許状取得のための実習科目のうち卒業所要単位として加算されない科目で、免許状取得希望者は該当科目を修得しないと取得ができなくなるので注意すること。

《スポーツ健康専攻》

科目群	該当免許種類
実習科目	中学校教諭一種免許状（保健体育）
	高等学校教諭一種免許状（保健体育）

- ・希望する資格関係科目以外は履修できない。履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「教育職員免許状および資格取得の手引き」を参照のこと。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

発達科学部は、他大学、他学部・他専攻等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択科目として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

オーストラリア（ブリスベン）にある「グリフィス大学」、アメリカ合衆国（インディアナ州）インディアナ大学及び台湾（台南）南台科技大學と交換留学を行っている。募集要項を掲示するので、希望者は所定期間内に志願し、手続きをすること。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

（注）平成20年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板で確認すること。

(9) 随意科目

卒業所要単位として算入されない科目。

講義内容に興味・関心がある場合は、年間最高履修登録単位数に含まれない科目として登録・履修することができる。

履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

平成20年度 開講科目

科 目	単 位	年 次	担 当 者	摘 要
海 外 研 修	2	1～	(後日掲示する)	
指定科目（該当者のみ）				別途指示する

(10) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。
必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次担当科目より授業科目を履修できる。
各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。

※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する場合があるので、掲示や4月のガイダンス等によく確認すること。

I群：外国語科目 1クラスの人数に制限があるため、学務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II群：教養科目 開講科目の中から、不足単位分を履修する。別科目を選択してもよい。

III群：基本科目 (必 修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。
(選択必修) 特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
同科目群内の選択必修科目であれば、別科目に変更してもよい。

IV群：専門科目 ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
・課題研究、卒業研究関係科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表 (発達科学部 発達科学科 スポーツ健康専攻)

*資格関係科目

科目区分		開講	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所業単位	教職免許状(保健体育)				
				必修	選択			中 種	高 種	中高 種		
Ⅰ-A	外国語科目 (必修)	通年	英会話Ⅰ	2		1	4単位	*	*	*		
		通年	英会話Ⅱ	2		2		*	*	*		
Ⅰ-B	外国語科目 (選択)	通年	英会話Ⅲ		2	2・3・4	Ⅰ群-B 及び Ⅱ群より 12単位					
		通年	英会話Ⅳ		2	1・2・3・4						
		通年	英会話Ⅴ		4	1・2・3・4						
		通年	英会話Ⅵ		4	1・2・3・4						
		通年	英会話Ⅶ		4	1・2・3・4						
		通年	英会話Ⅷ		4	2・3・4						
		通年	ドイツ語Ⅰ		4	1・2・3・4						
		通年	ドイツ語Ⅱ		4	2・3・4						
		通年	ドイツ語Ⅲ		4	2・3・4						
		通年	ドイツ語Ⅳ		4	2・3・4						
		通年	フランス語Ⅰ		4	1・2・3・4						
		通年	フランス語Ⅱ		4	2・3・4						
		通年	フランス語Ⅲ		4	2・3・4						
		通年	フランス語Ⅳ		4	2・3・4						
		通年	スペイン語Ⅰ		4	1・2・3・4						
		通年	スペイン語Ⅱ		4	2・3・4						
		通年	スペイン語Ⅲ		4	2・3・4						
		通年	スペイン語Ⅳ		4	2・3・4						
		Ⅱ群	教養科目	半期	歴史学A			2	1・2・3・4			
				半期	歴史学B			2	1・2・3・4			
半期	地理学A				2	1・2・3・4						
半期	地理学B				2	1・2・3・4						
半期	倫理学A				2	1・2・3・4						
半期	倫理学B				2	1・2・3・4						
半期	哲学A				2	1・2・3・4						
半期	哲学B				2	1・2・3・4						
半期	文学A				2	1・2・3・4						
半期	文学B				2	1・2・3・4						
半期	美学A				2	1・2・3・4						

* 資格関係科目

科目区分	開講	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所業単位	教職免許状(保健体育)		
			必修	選択			中 種	高 種	中高 種
Ⅱ群	教養科目	半期 美学B		2	1・2・3・4	Ⅰ群-B 及び Ⅱ群より 12単位			
		半期 社会学A		2	1・2・3・4				
		半期 社会学B		2	1・2・3・4				
		半期 法学A		2	1・2・3・4				
		半期 法学B		2	1・2・3・4				
		半期 統計学A		2	1・2・3・4				
		半期 統計学B		2	1・2・3・4				
		半期 心理学A		2	1・2・3・4				
		半期 心理学B		2	1・2・3・4				
		半期 社会心理学A		2	1・2・3・4				
		半期 社会心理学B		2	1・2・3・4				
		半期 環境科学A		2	1・2・3・4				
		半期 環境科学B		2	1・2・3・4				
		通年 数学A		4	1・2・3・4				
		通年 数学B		4	1・2・3・4				
		半期 物理学A		2	1・2・3・4				
		半期 物理学B		2	1・2・3・4				
		半期 生物学A		2	1・2・3・4				
半期 生物学B		2	1・2・3・4						
Ⅱ群-A	基本科目(必修)	半期 フレッシュマンセミナー	1		1	1単位	卒必	卒必	卒必
Ⅱ群-B	基本科目(選択必修)	半期 教育総論		2	1・2・3・4	10単位			
		半期 教育原理		2	1・2・3・4				
		半期 教育課程論		2	3・4				
		半期 教育制度論		2	1・2・3・4		*	*	*
		半期 比較教育論		2	2・3・4				
		半期 教育哲学		2	2・3・4				
		半期 教育心理学概論		2	1・2・3・4				
		通年 コンピュータ実習		2	1・2・3・4		*	*	*
Ⅳ群	専門科目(スポーツ健康専攻主科目)	実技理論・実習	半期 実技理論・実習 陸上運動Ⅰ		1	1・2・3・4	*	*	*
			半期 実技理論・実習 陸上運動Ⅱ		1	1・2・3・4	*	*	*
			半期 実技理論・実習 器械運動Ⅰ		1	1・2・3・4	*	*	*
			半期 実技理論・実習 器械運動Ⅱ		1	1・2・3・4	*	*	*
			集中 実技理論・実習 水泳		1	2・3・4	*	*	*
			半期 実技理論・実習 柔道		1	2・3・4	*	*	*
			半期 実技理論・実習 ダンスⅠ		1	1・2・3・4	*	*	*
			半期 実技理論・実習 ダンスⅡ		1	1・2・3・4	*	*	*

Ⅳ
 スポーツ
 ~06

* 資格関係科目

科目区分	開講	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所業単位	教職免許状 (保健体育)			
			必修	選択			中 種	高 種	中高 種	
IV群	専門科目 (スポーツ健康専攻主科目)	実技理論・実習	半期	実技理論・実習 バasketボール	1	1・2・3・4	IV群及び V群より 72単位	*	*	*
			半期	実技理論・実習 バレーボール	1	2・3・4		*	*	*
			半期	実技理論・実習 蹴球(ソフボール)	1	2・3・4		*	*	*
			半期	実技理論・実習 テニス	1	1・2・3・4		*	*	*
			半期	実技理論・実習 ラグビー	1	2・3・4		*	*	*
			半期	実技理論・実習 サッカー	1	1・2・3・4				
			半期	実技理論・実習 体づくり運動	1	2・3・4		*	*	*
			半期	体育原理	2	1・2・3・4		*	*	*
			半期	体育心理学	2	2・3・4		*	*	*
			半期	体育経営管理学	2	2・3・4		*	*	*
			半期	体育社会学	2	2・3・4		*	*	*
			半期	スポーツ産業論	2	3・4				
			半期	スポーツ行政論	2	2・3・4		*	*	*
			半期	運動学Ⅰ	2	1・2・3・4		*	*	*
			半期	運動学Ⅱ	2	1・2・3・4		*	*	*
			半期	スポーツコーチング総論	2	2・3・4		*	*	*
			半期	レクリエーション理論Ⅰ	2	2・3・4				
			半期	レクリエーション理論Ⅱ	2	2・3・4				
			半期	競技スポーツ理論	2	1・2・3・4				
			半期	体育測定評価	2	2・3・4				
			半期	生理学	2	2・3・4		*	*	*
			半期	運動生理学Ⅰ	2	2・3・4		*	*	*
			半期	運動生理学Ⅱ	2	2・3・4		*	*	*
			集中	公衆衛生学	2	1・2・3・4		*	*	*
			半期	学校保健Ⅰ	2	1・2・3・4		*	*	*
			半期	学校保健Ⅱ	2	1・2・3・4		*	*	*
			半期	精神保健学	2	1・2・3・4		*	*	*
			半期	発育発達学	2	2・3・4				
			半期	トレーニング論	2	2・3・4				
			半期	トレーニング実習Ⅰ	1	2・3・4				
			半期	トレーニング実習Ⅱ	1	3・4				
			半期	スポーツ医学Ⅰ	2	3・4				
			半期	スポーツ医学Ⅱ	2	3・4				
			半期	スポーツリハビリテーション論	2	2・3・4				
半期	解剖学	2	3・4							

* 資格関係科目

科目区分	開講	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所業単位	教職免許状 (保健体育)			
			必修	選択			中 一 種	高 一 種	中・高 一 種	
Ⅳ群	専門科目 (スポーツ健康専攻主科目)	関連科目	半期	造形文化論	2	1・2・3・4	Ⅳ群及び Ⅴ群より 72単位			
			半期	英語であそぼう	2	3・4				
			半期	児童文学	2	1・2・3・4				
			半期	おもちゃ論	2	2・3・4				
			集中	野外運動A	2	1・2・3・4				
			集中	野外運動B	2	1・2・3・4				
			集中	救急法	2	1・2・3・4				
			半期	レクリエーション実技	1	2・3・4				
			集中	レクリエーション実習 (◆レ)	1	2・③・④				
			半期	課題研究A	2	3・4				
			半期	課題研究B	2	3・4				
			通年	卒業研究	8	4				
			Ⅴ群	教育学関係科目	半期	教師論		2	3・4	*
半期	教育本質論	2			1・2・3・4	◆	◆	◆		
半期	教育心理学	2			1・2・3・4	◆	◆	◆		
半期	体育科教育法Ⅰ	2			3・4	*	*	*		
半期	体育科教育法Ⅱ	2			3・4	*	*	*		
半期	保健科教育法	2			3・4	*	*	*		
半期	体づくり運動指導法	2			2・3・4	*	*	*		
半期	道德教育の研究	2			2・3・4	◆	◆	◆		
半期	特別活動の研究	2			2・3・4	◆	◆	◆		
半期	教育工学	2			2・3・4	◆	◆	◆		
半期	生徒指導Ⅰ	2			2・3・4	◆	◆	◆		
半期	生徒指導Ⅱ	2			2・3・4	◆	◆	◆		
通年	総合演習	2			2・3・4	◆	◆	◆		
半期	日本国憲法	2			1・2・3・4	*	*	*		
自由選択	Ⅰ群～Ⅴ群科目及び他専攻、他学部科目				25単位	/				
卒業所要単位									124単位	

○の年次で履修 ◆該当資格希望者のみ履修可能
(◆レ) …レクリエーション・インストラクターⅣ
スポーツ
～06

科目区分	開講	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所業単位	教職免許状(保健体育)			
			必修	選択			中一種	高一種	中高一種	
実習科目 ・該当の実習を履修	半期	教育実習の事前事後指導(保健体育)		1	3~4	・卒業単位に含めない ・(注)	◆	◆	◆	
	実習	教育実習(中学校)		4	4		◆		◆	
	実習	教育実習(高等学校)		2	4			◆		
随意科目	集中	学校経営と学校図書館		2	2・3・4	・卒業単位に含めない	◆	◆	◆	
	集中	学校図書館メディアの構成		2	2・3・4		◆	◆	◆	
	集中	読書と豊かな人間性		2	2・3・4		◆	◆	◆	
	集中	学習指導と学校図書		2	2・3・4		◆	◆	◆	
	集中	情報メディアの活用		2	2・3・4		◆	◆	◆	
	海外研修等									
	指定科目(該当者のみ)									

◆該当資格希望者のみ履修可能
(注) 教育実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない。

3. スポーツ健康専攻 卒業・資格別所要単位数

科目区分		卒業	中一種 (保健体育)	高一種 (保健体育)	中一種・高一種 (保健体育)
I群-A	外国語科目(必修)	4	4	4	4
I群-B	外国語科目(選択)	12	12	12	12
II群	教養科目				
III群-A	基本科目(必修)	1	1	1	1
III群-B	基本科目(選択必修)	10	10	10	10
IV群	専門科目	72	72	72	72
V群	教育学関係科目				
自由選択		25	25	25	25
卒業合計単位		124	124	124	124
実習科目(注1)			5	3	5
随意科目(注2)					
資格別所要合計単位			129	127	129

(注1) 希望する免許に開設された実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。
(注2) 全学部共通随意科目・指定科目(該当者のみ)。卒業所要単位には含まれない。

V 教育職員免許状および資格の概要

1. 教育職員免許状および資格の概要

本学では、学部ごとに取得できる教育職員免許状および資格（以下「免許・資格」という。）の種類が異なる。発達科学部で取得できる免許・資格の一覧は、次頁に示す通りであるが、ここでは時代のニーズをも含めてその概要説明を行う。

(1) 教育職員免許状（一般には教員免許状）

学校教育法第一条に規定されているすべての国公立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校および幼稚園（以下「学校」という。）の教育職員（教諭、助教諭、養護教諭および講師）になるには、原則として教育職員免許法に定められた教員免許状が必要である。

教員免許状は、免許法に定められた「教職に関する科目」と「教科に関する科目」の単位を取得し、教育実習を終了し、義務教育教員免許の場合は介護等体験実習の証明書を添えて、都道府県の教育委員会にその授与を申請してはじめて取得できる。

義務教育教員免許の取得希望者については、教育実習の他に最低7日間の介護等体験が義務付けられている。これは、特別支援学校および社会福祉施設での介護等の体験を通じて教員としての資質の向上を図り、義務教育の充実を期することを目的としている。

公立小学校、中学校、高等学校の教員を目指す場合は教員採用試験、公立幼稚園の教員を目指す場合は公務員採用試験に合格することが必要である。試験合格にはより高度の学習が求められるため、本学教員の指導下での努力を期待している。

(2) 保育士資格

保育士は児童福祉法に規定されている資格であり、保育士の業務としては、「児童の保育」と「保護者に対する保育指導」の2つが定められている。子育てについての唯一の専門職である保育士は、保育という営みを通して子どもの育ちを援助するとともに、その保護者に子育ての生きた知恵を発信していく立場にある。地域社会における子育ての支援はもとより、子どもと子育てにやさしい社会づくりなど、保育士の活躍に大きな期待が寄せられている。

児童教育専攻で保育士資格の所定の単位を修得した者は、卒業時に保育士となる資格を有するが、保育士資格を申請し、保育士登録名簿に登録されて初めて、保育士の名称を用いて勤務することができる。

(3) 社会福祉士受験資格

社会福祉士資格は国家資格である。資格取得のためには、能力、知識、技能を磨いて、国が実施する社会福祉国家試験に合格することが必要である。

しかし、試験合格の為には、より高度の学習が求められる。

「社会福祉士及び介護福祉士法」によると、社会福祉士とは「専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことを業とする者」とされており、具体的には福祉事務所等の福祉行政職員、社会福祉施設の相談員などとして活躍することが期待されている。

児童教育専攻で受験資格を取得するためには、「社会福祉士及び介護福祉士法」に定める受験資格要件を満たしていることが必要となる。

また、本学は同法七条一に定める大学であり、履修科目の名称の読み替えについても認定済みである。

2. 取得できる教員免許状および資格の種類

本学部では免許・資格を取得する課程を置いている。それぞれの免許・資格の意義、性格、役割をふまえ、各自が自分の将来のキャリアを熟慮したうえで、全力を傾けて一つの免許・資格の取得を目指すべきである。

しかしながら、それぞれの免許・資格には関連性の高いものもあるので、それらについては複数の免許・資格を目指すほうが適切な場合もある。なお、本学部で取得できる免許・資格の組合せは、下記の通りである。

【発達科学部 発達科学科 児童教育専攻】

取得できる免許・資格の組み合わせ*	
A	小学校教諭一種免許状
B	幼稚園教諭一種免許状
C	保育士資格 ^(注)
D	社会福祉士受験資格
E	小学校教諭一種免許状 ・ 幼稚園教諭一種免許状
F	幼稚園教諭一種免許状 ・ 保育士資格 ^(注)
G	保育士資格 ^(注) ・ 社会福祉士受験資格

* 複数の免許・資格を取得する場合に、当該の免許・資格が最短修業年限で取得できることを保証するものではない。必ずしも卒業と免許・資格取得が両立しないことがあるので、十分に留意すること。

^(注) 保育士資格取得希望者は、1学年（C + F + G）で150名以内とする。

【発達科学部 発達科学科 スポーツ健康専攻】

取得できる免許	
①	中学校教諭一種免許状（保健体育）・高等学校教諭一種免許状（保健体育）
②	高等学校教諭一種免許状（保健体育）

〔注〕

- ・履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「教育職員免許状および資格取得の手引き」を参照のこと。
- ・本学卒業後、在学中に所属した専攻で取得可能な免許・資格に係る科目が一部未修得者に限り、本学の科目等履修生として許可された場合に未修得科目を履修することができる。ただし制限等がある為、科目等履修生では取得できない資格、履修制限のある科目については実習指導室で、年間履修単位数の制限、履修期間の期限等については学務課で確認すること。

3. その他の資格

(1) 認定心理士

認定心理士（正式名称：社団法人日本心理学会認定心理士）とは、大学・大学院において所定の心理学科目を修得することにより取得できる資格で、社団法人日本心理学会から授与される。この資格を取得すれば、「心理学」という名称のつかない学部・学科を卒業していても、心理学の専門家として仕事をするために必要な最小限の標準的基礎学力と技能を修得していることが証明される。

児童教育専攻で心理学関連科目の所定単位を修得した者は、卒業後に日本心理学会に申請することにより認定心理士の資格が取得できる。なお、在学中に所定の条件を満たした者は、卒業見込みの学年度に仮認定証を申請することができる。

【注】

- ・履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「教育職員免許状および資格取得の手引き」を参照のこと。

(2) レクリエーション・インストラクター

レクリエーション・インストラクターは、(財)日本レクリエーション協会の認定する最も基礎的な資格である。本学部は同資格の課程認定校として承認されているため、在学中に所定の科目を履修することにより資格取得が可能となる。

日本レクリエーション協会は、我が国のレクリエーション関連の団体の中で最も歴史と実績を有する団体で、各都道府県、市区町村のレクリエーション協会や各種目・領域団体を傘下に持つ大規模な組織である。文部科学省認可の財団法人であり、平成5年に特定公益増進法人として認定されている。

このような同協会の認定する資格であるレクリエーション・インストラクターは、「レクリエーション活動に関する基本的な知識と技術指導の方法を習得し、質の高いレクリエーション・サービスの提供が可能なる人材」であることを全国的に保証する資格である。

【注】

- ・履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「教育職員免許状および資格取得の手引き」を参照のこと。

(3) 学校図書館司書教諭

学校図書館司書教諭とは、小学校、中学校及び高等学校において、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校図書館の専門的職務に従事する教諭をいいます。

学校図書館司書教諭は、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導等を行うなど、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担うもので、本学ではこの資格の取得に必要な5科目を開講しています。

1. 受講資格

本学において学校図書館司書教諭講習を受講できる者は次の通りです。

- ・本学において小学校・中学校・高等学校のいずれかの教育職員免許状取得希望の登録をしている2年生以上の者
(平成20年度より受講資格が変更になりました。)

【注】詳細は学内掲示板に掲示します。

2008年度 履修要綱

白鷗大学 教育学部・発達科学部

平成20年4月1日 発行

編集・発行 白鷗大学事務局

〒323-8585

栃木県小山市大行寺1117番地

電話 0285-22-1111(代表)

ホームページ <http://hakuoh.jp/>



緑のチェッカーは五大陸を、
青いストライプは三大洋を表し、
広く世界を見つめる姿勢を表現しています。

白鷗大学 教育学部・発達科学部